英検 公益財団法人 日本英語検定協会 ［グローバルキャリアのための留学情報紙］ IELTS

# The University Times

July 2014 Vol. 34

http://jtimes.jp/utimes

produced by IELTS by Eiken × The Japan Times ©THE JAPAN TIMES, LTD. 2014

CONTENTS

■ Global Leader's Voice
沼田貞昭さん（鹿島建設株式会社） 1 2

■ Studying Abroad in the U.S.A
私の米国留学 3

■ University's Challenge
学習院大学／青山学院大学 4 5

■ Journalist's Eye
アメリカ出身のJ-POPシンガー 国内最大級の洋書売り場が登場 6

■ News in English
英文記事を読んでみよう 7

■ Visit a Global Company
住友商事株式会社 8 9

■ Key to Success
成功する留学の法則／ Book Review 10

■ Scholarship List
奨学金情報 11

■ IELTS World
IELTS Hot News 12

■ IELTS World
IELTSテストのコツ 13

■ IELTS World
IELTS 対策コースナビ／攻略本 14

■ Study Abroad Benefits
留学で培う３つの力 15

Global Leader's Voice

グローバルリーダーインタビュー

## 実体験が成長の糧となる まずは海外に飛び出そう

Vol.4 **沼田 貞昭さん**

鹿島建設株式会社顧問
一般社団法人日本英語交流連盟会長
元在カナダ特命全権大使

**高校留学の経験から外交官になる夢を持った沼田貞昭さん。実際に外務省に入省してからも、英語をはじめ学ぶことを継続し、外交官として大役を歴任されてきた経験をもとにこれからのグローバル人材に求められる能力や現代の日本の若者に対する想いを語ってくれた。**

### 留学先で実感した「対外発信」の必要性

「父親は銀行員で、外国とは縁がない家庭で育ちましたが、なぜか中学生の頃から英語というものに関心はありました。当時、ポップソングに興味があったことも関係していたのかもしれません。高校でも英語部に所属していました」。長年外交官として勤められた沼田貞昭さんは、自身の幼少の頃を笑顔でこう述べた。

「３つ上の姉が高校生のときに AFS という団体を通して留学をしたことで、私も高校時代に留学に興味を持ちました」。そして実際に、沼田さん自身も AFS でアメリカに留学をした。これが高校３年生の７月のことである。

「コネチカット州にある私立の The Choate School という全寮制の学校に留学することが決まっていたのですが、学校から送られてきたパンフレットを見て違和感を覚えたんです。ぱらぱらと冊子をめくってみても、女性の姿がまったく写ってない。実は男子校だったんですね（笑）」

ケネディ元大統領の母校だというこの学校に沼田さんが通っているとき、ケネディ氏は大統領に選出された。折しも日本国内では、日米安全保障条約に対する反対運動で国全体が揺れ動いていた時代でもある。

「寮に入る前にステイをしていたホストファミリーやそのご近所、そして学校でも、みんなから『なぜ、今日本では学生が騒いでいるんだ？』とよく聞かれました。当時は必死でその理由を説明していましたが、今思い起こすと、この経験がきっかけで外交官になろうと決めたのだと思います。対外発信をしていかなければならないと強く感じたのです」と沼田さんは当時を振り返る。

### 外国人との接し方にカルチャーショック

高校に入学してから留学するまで、ラジオの米軍放送などを聴いて英語力を磨いた。

「会話はかなりできると思っていたのですが、留学先では、Writing――書くことに本当に苦労しました。毎週月曜日の１時間目が『English』という授業だったのですが、毎回与えられたテーマに沿って 500 語のエッセイを書く。日本ではやったことのない初めてのチャレンジで、前日の晩はいつも徹夜をして必死に書いていました」

在学中は English の授業のほかに、数学とフランス語、そしてアメリカ史も勉強した。日本の高校でも学んでいたフランス語と、数学は問題なかったというが、アメリカ史も相当な苦労をされたそうだ。しかし、時間が経つごとに確実に点数が上がっていき、完全な英語ネイティブスピーカーじゃなくても大丈夫なんだ、と感じたという。

日本とアメリカの授業の違いのほかにも、カルチャーショックを受けたことがある。

「アメリカ社会はほかの国と比べると、外国から来た人を歓迎して、彼らを Assimilate（同化）させようとするのだと感じました。でも、こちらにもアイデンティティがあります。アメリカには留まらず、日本に帰って外交官になる夢をすでに持っていた私には、少しおせっかいに感じることがあったのも事実です」

# 外国語を学ぶときには、まず「書く」ことを重視します。

## 英語力維持に役立った同時通訳のアルバイト

アメリカから帰国し、無事に大学受験を終えて、東京大学に進学した。外交官になると決めていた沼田さんは、養った英語力を維持するためにどんなことをしたのだろうか。

「ある程度話すことができるようになった後に進歩しなくなる人が多いため、継続して英語を使っていかなければいけないと思いました。東大の ESS にも入りましたが、実際にはこちらの活動にはあまり参加せず、同時通訳のアルバイトを始めました。まさに On the Job Training というわけです」

当時は同時通訳のプロがあまりいなかったため、トレーニングを数回受けてすぐに同時通訳のブースに投げ込まれた。

「大学１年生のときに原水爆禁止世界大会で初めて同時通訳の経験をしました。そのあと、村松増美さんが設立に携わったサイマルインターナショナルでも同時通訳のアルバイトを続けました。こうした実践の機会に恵まれたことが、英語力の維持に役立ったのです」

外務省への入省が決まっていた大学４年次には、ディベート大会にも出場されたそうだ。このとき初めて、東京大学がアカデミック・ディベートで優勝したという。

## 考える力も鍛えられたオックスフォードの授業

外務省では、研修のためイギリスに行く場合、オックスフォード大学かケンブリッジ大学で２年間学ぶことになっていたが、沼田さんはオックスフォード大学に留学した。外務省に入ってすぐの７月のことである。学位を取ることを義務付けられていたわけではないが、与えられたチャンスを無駄にせず、英国人の学生なら通常３年かかる学士号の取得を、２年で取れるよう努力を重ねた。

「オックスフォード大学の授業はマンツーマンのチュートリアルと呼ばれる形式で行われていましたが、とにかくハードだったのを覚えています。教授から毎回トピックが与えられ、それに関するリーディングマテリアルも渡されるのですが、これが本 10 冊などという分量。しかもどこを読めばいいといった指示はないので、答えに該当しそうな箇所を自分で探すしかありません。さらに、与えられた質問に対する答えをエッセイにまとめて、次回の授業で読み上げます。それを教授が批判し、二人で議論をする。私の場合は Philosophy, Politics, Economics の学位を２年間で終わらせなければならなかったので、この授業を１週間に2回ずつやっていました。

そんなある日、特に苦労していた Philosophy の先生に聞いてしまったんです。『なぜこんなことをやらなければならないんでしょうか？』と。先生はこうおっしゃいました。『脳を鍛えているんだ。いつか必ず役に立つよ』。まさにその通りで、今振り返ってみても、このチュートリアルの経験は本当に役に立ったと思います」

高校生のときも書くことで苦労をされた沼田さんだったが、オックスフォード大学でも書くトレーニングを実践的に受けていたのだ。

「オックスフォードの試験も、日本の試験とは毛色が違いました。日本では論点をすべて押さえていれば優がつきましたが、オックスフォードではそうはいきません。論点を押さえつつ、何かきらめく自分のアイディアを組み込まないといい成績はもらえない。みんなと同じ意見では意味がないのです」。こうして、考える力も同時に養われたのだという。

## 国際社会で発揮された英語力とリーダーシップ

イギリスから帰ってさまざまな国の大使や公使などを歴任された沼田さんだが、自身のキャリアで印象に残っていることとして、ジュネーブで軍縮会議日本代表部の参事官を務めたことを挙げられた。

「私が議長を務めていた作業部会で、化学兵器禁止条約の策定を進めていました。これは多数決では決められないので、さまざまな意見をまとめてコンセンサスをとらなければなりません。つまり、全員の主張を収斂させなければならない。つくづく根回しの必要性を感じました。海外でも根回しが必要なんです。誰がどういう発言をしそうか事前に想定し、自分の収斂させたい方向に持っていく。どういう順番で発言させるかも重要です。セッションが終わると議長はサマリーもしなければなりません」

英語だからこそ言いにくいことも言いやすくなるような状況もあったという。

「ある国の人が延々と話を続けるので、議長としてそろそろ止めなければと思っていたのですが、日本語ではなかなか言えないことが、英語であれば慇懃無礼にしれっと言える、という場面もありました」

在パキスタン特命全権大使を務めていたときには、アメリカで「9.11」が起こった。パキスタンの外務次官との面談や、在留邦人をなんとしても日本に帰すという使命があり、緊張の連続だったという沼田さん。英語力もさることながら、リーダーシップが問われる場面が多々あったという。

## 伝えたいメッセージは３点にまとめよう

外務報道官なども経験されている沼田さんが、メッセージを対外的に発信する際に気をつけていることはなんだろうか。

「まずは ‘Know your audience’ ——聞いている人の立ち位置や立場を考えなければいけません。一方的に自分の言いたいことを発信しているだけではだめなんです。さらに、伝えたいメッセージを３点に絞り、それぞれに対する理由も３点にまとめます」

要点を３つに絞ることによって、聞き手の印象に残りやすくなるのだそうだ。さらに沼田さんはこう続ける。

「私の経験上、３つと言っているのですが、興味深いことに、東京オリンピック招致の最終プレゼンテーションをプロデュースしたニック・バーリー氏も同じようなことをおっしゃっています。彼の著書『世界を動かすプレゼン力〜日本はこうしてオリンピックを勝ち取った！〜』は大変素晴らしかったので、ぜひ大学生の皆さんにもおすすめしたいですね」

実際に、2011 年３月 11 日の東日本大震災の後、英国の BBC からインタビューを受けた際にも、伝えたい要点を３点書き出して取材に臨んだという。

「自分の言いたいことをあらかじめまとめておくことはとても大切です。伝えたいことが明快であれば、難しい質問をされたときも、自分の伝えたいメッセージに回答をうまく結びつけて臨機応変に対応すればいいのです」

## 想いを伝える訓練に活用できるディベート

いまの日本の学生に対して、憂いていることがある。

「日本人の留学生が減っているのはとても残念なことだと思います。日本の中だけでやっていればいいという風潮があるように見受けられますね」

さらに、英語力に関してはこう話す。

「グローバル・コミュニケーターとして丁丁発止のやり取りができるような力を身につけるためには、IELTS など４技能を測れる試験を活用して英語力を磨いていくべきだと思います。Writing や Speaking もきちんと測った方がいい。お隣の韓国や中国にも太刀打ちできるようになりたいものです。

アメリカやオックスフォードの留学経験から思うことですが、語学力・英語力はまず書くことからきちんと身につけるべき。単純な和文英訳ではいけません。自分が持っているボキャブラリーで自分の伝えたいことをいかに最大限に表現できるか。これは、エッセイを大量に書いていたときに私も直面した問題です。外交官時代にフランス語、インドネシア語、そしてウルドゥ—語も少し勉強しましたが、外国語を学ぶときは必ずエッセイを書かされました。英語を学ばれる皆さんも、新聞記事を読んで感想を書いてみたり、日記をつけてみたり、書くことは怠らないでほしいですね」

日本人は日本語で文章を書くこともあまりないので、日本語から始めてみるのもいいかもしれない、と付け加える。

「日本人は、筋道立ててメッセージを組み立てる訓練が欠けてしまっています。その訓練にディベートを活用することは有効だと思います」

沼田さんは現在、鹿島建設株式会社の顧問をしている傍ら、日本でパーラメンタリー・ディベートを広める活動をする一般社団法人日本英語交流連盟の会長も兼任している。同連盟では６月に社会人英語ディベート大会、10 月には大学対抗英語ディベート大会を主催し、日本人の英語力やディベート力向上に寄与している。こういったところから、今後のグローバル社会で日本を背負って活躍する人材が出てくることだろう。

最後に、大学生の皆さんに力強いメッセージをいただいた。

「まずは外に出てみること。海外に出て、実際に身をもってさまざまな経験をすることが、非常に大切だと思います」

（英検グローバルリーダー研究グループ 伊藤南美）

**沼田 貞昭**（ぬまた さだあき）

1943 年、東京都生まれ。東京大学法学部卒業。オックスフォード大学修士（哲学、政治、経済）。1966 年に外務省に入省し、北米第一課長、軍縮会議日本政府代表部参事官、在英国特命全権公使、外務報道官、在パキスタン、カナダ特命全権大使などを歴任。2007 年に退官し、2009 年まで国際交流基金日米センター所長。2007 年より鹿島建設顧問。2011 年より日本英語交流連盟会長。2012 年２月より在日カナダ商工会議所特別顧問会長。

# 私の米国留学

## アメリカ留学もIELTS™の時代へ

～ IELTS はアメリカの約 3,000 の大学・プログラムで認定されています～

**多くの日本人学生が、未来に大きな夢を描き、
アメリカの大学や大学院に留学している。
彼らはどのような生活を送り、どのようなことを学んだのだろうか。
その十人十色の体験談は留学を考える読者のみなさんに、
たくさんのヒントと勇気を与えてくれるだろう。**

本コラムは以下の２団体の協力により連載しています。
●JGSAU（米国大学院学生会）http://gakuiryugaku.net/
●USCANJ（アメリカ学部卒業生ネットワーク）http://www.uscanj.net/

## 他分野にまたがる最新設備で研究の可能性が広がりました

**プリンストン大学**
**伊藤健彦さん**

慶応義塾大学文学部で英米文学を学ぶ。Mark Twain の作品に出合い、差別や偏見問題を研究するため東京大学大学院へ。社会心理学を専攻し 2014 年よりプリンストン大学へ交換留学。

### 交換留学制度を活用し念願のアメリカへ

今年の２月から、プリンストン大学心理学部社会心理学コースに在籍しています。私は小さい頃からアメリカが大好きで、学部時代は文学、大学院時代は社会心理の面からアメリカの文化や社会問題などについて学んできました。「実際に現地の研究環境で論文を書きたい」という思いが強くなっていた頃、母校の東京大学がプリンストン大学と提携し、2014 年には「心理学」と「神経科学」の共同研究所を設立。交換留学制度も整ったため、それを活用して今、念願だったアメリカでの研究生活を送っています。

### 最先端の研究環境で学際的なリサーチを実現

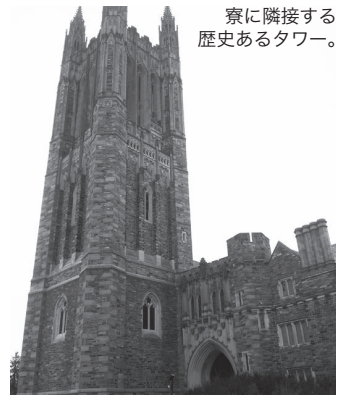
私の研究テーマはおもに偏見や差別、集団間葛藤といった社会問題で、現在は「就職活動における学歴差別と求職者の態度」について日米間を比較しています。

プリンストン大学の共同研究所には最新の研究設備が備わっており、神経科学の分野から心理学へアプローチできる点が大きな魅力ですね。例えば、脳の血流反応を観察できる functional magnetic resonance imaging（fMRI）という機械を用いて、被験者に自分と異なる人種の顔を見せると、脳内で、不安といったネガティブな感情と関わりのある「扁桃体」が活性化することがわかっています。このように、神経科学の手法を用いることで「感情」と「脳の動き」に関するさまざまな法則が見えてきました。これまで心理学の分野では、アンケートや行動観察によって得たデータを多用してきましたが、こうした別分野からのアプローチによって、従来の心理学を再考する新しい研究へと発展できるのではないかと考えています。

### 多くの日本人を世界へ国際化に貢献したい

期待を胸にアメリカへ来ましたが、初めはとにかく言語の違いに苦労したのを覚えています。大学は英文科を卒業し、英会話スクールにも通って英語力を磨いてきたのに、現地ではまったく通用しない。ですから、学内外のイベントにたくさん参加し、積極的に現地の人の輪に入るよう心がけました。笑顔をつくることしかできず苦痛なときもありましたが、それを繰り返すうちに急に英語力が伸びてきたのです。こうした経験もあり、いずれは教員となって日本人の国際化に貢献したいと考えています。昨今、内向きの学生が多いと言われますが、それは就職活動のシステムや財政支援面などさまざまな要因が考えられます。自身が実感した「逃げない」ことの大切さを伝えながら、日本の国際化問題を改善し、より多くの人が世界へチャレンジできるよう後押しできれば。それが私の目標です。

広大なキャンパスに建つ共同研究所。



寮に隣接する歴史あるタワー。

**伊藤さんに一問一答！**

**Q 留学して成長したと思うことは？**
恥をかけるようになりました。日本にいるときは、自分を守ることに労力を費やし疲れていましたが、多様性を重視するアメリカに来てからは、欠点も個性のひとつととらえ、自分を出すことができるようになりました。

**Q 実りある留学にするための秘訣は？**
逃げないこと。文化や言語の違いに戸惑うことがあっても、とにかく現地の人と一緒にいれば、そこから多くのことを吸収できます。今、日本人留学生の数が減っているので、みんなに興味を持ってもらえますよ。

**Q 留学を目指す読者にアドバイスを**
アメリカで研究や学びのレベルを高めるのはもちろん、留学を通して日本社会で培った価値観を相対的に見る力を養ってください。こうした力を持っていれば、将来、リーダー的存在として社会に大きく貢献できると思います。

## ニューヨークは、学びを深め感性を磨くための最高の場所！

**コロンビア大学バーナードカレッジ**
**大館あさ美さん**

幼い頃から海外生活の機会が多く、中学２年生でシンガポールのインターナショナルスクールへ編入。多国籍な生徒と学生生活を送る。2012 年、コロンビア大学バーナードカレッジへ入学。

### すばらしい教授陣ときめ細かなサポート

大学入学時に学部や専攻を決めるのはまだ早いと考え、その必要がないアメリカのリベラルアーツカレッジに進学先を絞りました。１年次はさまざまな分野の授業を履修し、２年次の今、化学を主専攻、ダンスを副専攻として選択しています。

私が通うコロンビア大学バーナードカレッジの魅力はいくつも挙げられますが、なんといっても教授陣がすばらしいのが特徴です。それぞれが専門のフィールドで活躍し、最先端の研究にたずさわっているのはもちろん、教えることに対する強い情熱の持ち主ばかり。興味のある研究をしている教授にメールを送ると気さくに対応してくれ、時間をつくってさまざまな話をしてくれます。また、化学専攻では各学年５人程度の学生に対して、教授の数はその倍以上！　大学をあげて女性の STEM（= Science, Technology, Engineering, Math）教育に力をいれていることもあり、予算も潤沢で、座学から実験まできめ細やかな学習環境が整っています。大学側は何においても学生を中心に考えており、例えば、教授の採用にあたっては学生へインタビューを行い、意見を求める点には驚きました。

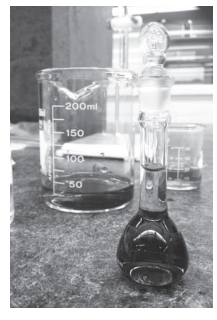
### 刺激あふれる街でダンスに邁進する日々

キャンパスから一歩出たニューヨークという街もまた刺激的で、感性を磨き、ダンスを学ぶにはこの上ないところです。大学の ID があれば多くの美術館は無料で入れますし、舞台鑑賞の割引チケットも手に入ります。最先端の文化を求めて多くの人がこの地に来ており、自然とアーティストやダンサーの友人が増えましたね。昨年のルームメイトは、ブロードウェイ関連のプロダクションでインターンをしており、度々、一緒に舞台を鑑賞しました。その他にも、週末に友人のパフォーマンスや展示会を観に行ったり、ジャズクラブで音楽を聞いたり。私自身も、前衛的なダンスとアートをコラボレートさせたパフォーマンス集団「CoLab」に参加しており、勉強していないときのほとんどはダンスやアートの知識・技術を深める時間に充てています。

CoLab の公演で振り付けを担当。

### 文化や伝統を尊重し次代へつなぐ架け橋に

幼い頃から日本と海外を行き来してきたこともあり、これからもさまざまな場所へ足を運び、多様な文化を体感することをライフワークにしていきたいです。さらには、その土地の文化・伝統の保存と次世代への継承に、今学んでいる化学の知識を役立てることができないかと模索中。今後は、絵画や美術品の修復について学ぶのもよいかもしれません。とにかく今は、最高の場所で、価値ある経験を積んでいることに感謝して、留学生活を精一杯楽しみたいと考えています。



実験では液体窒素でアイスクリーム作りも。

**大館さんに一問一答！**

**Q 留学して成長したと思うことは？**
ストレスとのつき合い方が上手になりました。嫌なこと、辛いことがあれば、サラッと周りに伝えることがポイント。ほとんどの人はこちらが的確に伝えれば理解し、協力してくれます。

**Q 実りある留学にするための秘訣は？**
(1) 一人で楽しく生活する方法を探すこと。一人でも楽しんでいればそこに人が集まってくるはず。(2) 大学以外のコミュニティに参加すること。他ジャンルの友人と話すことで自分の状況を客観視できます。(3) 思いついたら行動すること。行動から広がる人脈や経験はかけがえのないものです。

**Q 留学を目指す読者にアドバイスを**
言語の違い、経済面など、留学に心配事はつきませんが、熟考した後は行動することでしか状況は変わりません。フットーワークの軽さ次第で、留学はいくらでも充実したものになるはず。

国際交流に取り組む大学

# 学習院大学

# 社会科学と語学を柱に国際社会のしくみを学ぶ

**大学全体で意欲的に国際化を進めてきた学習院大学に2016年4月、新たに「国際社会学部（仮称）」が誕生する。社会科学の手法をもって国際社会のしくみを学ぶことで人や社会の見方を深め、今後のグローバル化時代に必須の自ら考えて道を切り拓いていける人材の育成を目指す。**

## 新学部創設で加速するキャンパスの国際化

江戸時代末期の1847年に、京都御所の東側で開講した「学問所」を起源とし、皇族ゆかりの名門校として知られる学習院。1949（昭和24）年には新制大学が開学し、広く一般に門戸を開くとともに、国際社会を視野に入れた全人教育にも、長年力を注いできた。現在は、留学生の受け入れと送り出し、協定校との交流ならびに短期の語学研修を行う国際交流センターと、研究者を対象とする国際研究教育機構を中心に、キャンパスの国際化を推進している。

2016年4月には、既存の4学部に加えて、新たに「国際社会学部（仮称）」が開設される。波多野敬雄院長のイニシアチブのもと、国際化へのモチベーションに応えて「グローバル学習院」を目指すという、力の入った新学部構想だ。

## 国際社会の見方を学び実践英語の力をつける

「新設予定の『国際社会学部（仮称）』では、社会科学と語学を2本の柱とした教育を提供していきます」

神戸伸輔教授（国際社会学部開設準備室長）は、新学部の概要を次のように説明する。

「日本の大学で学ぶ国際関連の学問というと、国際文化や国際協力などに焦点を当てたものが多いようです。本学の『国際社会学部』では、社会科学の見地から、地域研究、開発経済、政治、経営、法律といった国際ビジネスに密接に関連する分野で、諸課題について考察をし、私たちが生きる国際社会についての理解を深めていきます」

つまり、世界がどのように動いているのかを知り、国際社会の見方・読み解き方を身につけることを重視しているのである。グローバル化が進む現代社会では、日本を取り巻く国際情勢は目まぐるしく変化する。日本のなかで培った価値観だけでは判断しきれない新しい課題も、次々と出てくるだろう。グローバル化時代の荒波のなかで、私たちがしっかり自分の足で立ち、自分の頭で考えて道を切り拓いていくための基礎力を養うことを、新学部は目指している。

「OECDが発表した世界各国のGDPの予測によると、世界に占める日本のGDPは縮小の一途です。好むと好まざるとに関わらず、これからの日本の若者は、広く国際社会にチャンスを求め、また世界を相手に競っていかなければならなくなるでしょう。『世界』との距離が、これまでにないほど近くなるのがグローバル化ですから、もはや誰にとっても他人事ではありません。大学としても、グローバル化時代に対応した教育を行う必要を、強く感じています」

日本人の場合、英語力が「足かせ」となって、海外に出て行きにくい側面があるのは明らかだ。しかし、これまでは「できなければできないで何とかなった」英語を、グローバル時代の社会人が避けて通るのは難しい。

こうしたことから、新学部でも英語教育には、特に力を入れている。まず1、2年次で集中的に実戦英語を学び、英語が得意な学生も苦手な学生も、着実に力をつけることを目指す。その際、CLIL（Content and Language Integrated Learning）形式の授業の導入を予定している。CLILとは、個々のスキルをバラバラに教えるのではなく、特定のテーマやトピックを軸に、英語でさまざまな学習活動を行うというものだ。

例えば世界の環境問題というテーマをめぐり、英文資料を読む、意見を述べる、レポートを書く、プレゼンテーションを行うなど、多面的な訓練を通じて総合的な英語力が身につくと期待される。

「英語の授業とはいえ、テーマとして国際社会が抱えている課題を取り上げますので、実践的な英語力を訓練するとともに、問題意識やモチベーションも、自然と深まっていくと思います」

高校までの英語とは異なる、変化に富んだ能動的な授業になりそうだ。一方、2年次の後半から3年次以降には、英語で社会科学の専門分野を教える授業も入ってくる。

「専門教育と英語教育が、より密にリンクしていくことになりますので、低学年のうちに必要な英語力を身につけておくことが重要です」と神戸教授。

その英語力の習得においても重要な役割を果たすのが、「国際社会学部（仮称）」では必須となる短期留学の存在だ。

## 最低でも1ヵ月間の短期留学が全員必須

学習院には少人数教育の伝統があり、新学部においては、20名ほどの演習の授業に踏襲されている。1年次の演習では、学部の専門的な授業を受けるために必要な基本スキルとして、社会科学的な考え方や学習技法を学び、3年次からはテーマに沿った課題解決型の演習が行われる。

2年次はというと、演習の課程は変則的になる。新学部の学生には、最低1ヵ月間の短期留学が課せられており、多くの学生は2年次に留学すると見込まれるためだ。

留学は原則として私費となるが、海外の大学の短期コースでも、語学学校でも、行先は自分の関心や実力と相談し決めてよい。自分で学校を探すことも、もちろん大学に提携校を紹介してもらうこともできる。最近はアジアやヨーロッパでも、英語のプログラムを持つ大学が増えており、非英語圏以外に目を向ける学生も少なくなさそうだ。

「短期間でも海外で暮らす経験をすると、視野が広がります。その機会を与えてくれるのが留学です。留学を通じ、学生たちは日本とは異なる価値観や常識に触れ、驚いたり、考えさせられたり、身をもってたくさんの貴重な発見をするでしょう。日本で勉強しているだけではわからない、国際社会のリアリティの一端に触れることができるはずです」

そう語る神戸教授に、グローバル化時代の大学教育に対する思いと、学習院大学ならびに新学部のビジョンを聞いた。

「かつては商社や企業の海外部門に勤める人以外、海外で仕事をしたり、外国人と働いたりすることは、めったにありませんでした。今は違います。メーカーであれ、小売業やサービス業であれ、より可能性のある市場や、より有利な製造拠点を求め、日本の会社はどんどん海外に進出していきます。突然、海外との英語のやり取りが日常業務になることも、外国人の同僚と同じ職場になることも、今の日本ではさほど珍しいことではないでしょう。世界のことなど自分には関係ないと長年思ってきた、『ごく普通の会社に勤めるごく普通の人』にも、国際人としての資質が求められる時代なのです。

国際社会学部開設準備室長の神戸伸輔教授

こうした時代を生きる若者は、グローバル社会の仕組みをよく理解し、その環境で活動するための対応力を、スタンダードとして身につけておく必要があります。入学してきた学生が卒業を迎える時、自信をもってグローバル社会に羽ばたいていけるよう、私たちは4年間という年月をかけて、一人ひとり丁寧に育てていきたいと思っています」

新学部の開設は、再来年の春。1学年の学生数200名、英語の教員5名、社会科学分野の教員12名でのスタートとなる。「グローバル化時代に対する意識の高い学生に、ぜひ応募してもらいたい」と神戸教授。

次世代のグローバル人材を育てる「国際社会学部（仮称）」と、2年後には学部一期生としてそこに集う若い力に、学習院全体のさらなる国際化の牽引力として、今から大きな期待が寄せられている。

海外短期研修「グローバル・キャンパス・アジア」で西安へ。

ワンキャンパスで4年間じっくり学ぶことができる。

**学習院大学**

1年次からゼミ形式の演習を実施するなど、徹底した少人数制のもと一人ひとりの個性を大切にする教育を実践する。語学教育においては、外国語教育研究センターを中心に、世界の主要言語を実践的に学べる環境が整っている。

国際交流に取り組む大学

# 青山学院大学

# キリスト教の精神で地球社会に広く貢献する

**地球規模のさまざまな課題を解決できる人材の育成に向けて来年、青山学院大学に「地球社会共生学部*」が 開設される。４つの専門領域を自由に横断しながら学びを深め、フィールドワーク型の留学プログラムなど体験を重視する。青山学院大学ならではのグローバル人材養成に注目したい。**

## 相模原キャンパスに新しい学部が誕生

青山学院大学にもグローバル化時代を見据えた新学部が誕生しようとしている。2015年４月に相模原キャンパスに開設される「地球社会共生学部」だ。

初年度募集予定の学生数は、私費留学生10名を含む１学年190名。さらに学部全体で交換留学生40名を受け入れるので、４学年あわせて800名の学部が生まれることになる。

「地球社会共生学部」とは耳慣れない名称だが、平澤典男副学長は次のように語る。

「ひと言でいえば、『地球社会の共生』について考える学部です。地球社会というのは文字通りグローバル社会のこと。1980年代には、国際化という言葉が盛んに使われましたが、国際化時代の課題は国と国との関係が中心でした。一方、グローバル化時代に生きる私たちは、国レベルでは解決できない、地球規模のさまざまな課題に直面しています。

環境問題や人権問題といったグローバルイシューのなかで、私たちが特に注目しているのが、『差別、貧困、紛争、情報格差』の問題です。これらは人類がこの先も地球社会でともに生きていくうえで、どうしても解決しなくてはならない課題であり、『地球社会共生学部』は、その解決に役立つ人材を育てることを目的として構想された学部です」

## 地球規模の４課題を４領域から考える

「地球社会共生学部」のカリキュラムは、４つの領域で構成されており、入学するとまずその４領域を一通り学んで一定の幅広い知識を身につけ、専門分野に進むための基礎を固める。「ソシオロジー領域」では、社会学の手法を使って、世界の事象を分析し理解していく。「ビジネス領域」では経済・経営を、「コラボレーション領域」では政治学や国際関係論を、「メディア／空間情報領域」ではジャーナリズム、メディア、空間情報について学ぶことになる。

これら４領域で提供される各科目は、科目ナンバリング制によって、入門レベルから上級レベルまでの３段階で構成されている。１年次は各領域の入門レベルをバランスよく受講する。４領域を履修することで、「差別、貧困、紛争、情報格差」という４課題の解決に役立つ、基本の知識を得ることができる。

副学長の平澤典男教授

専門分野を決める２年次からは、関心分野の科目を自由に組み合わせて学ぶことができる。４つの領域を縦横斜めに行き来し、自分に合ったカリキュラムをオーダーメイドで作れるのである。その結果、特定の分野を掘り下げて高い専門性を身につけることも、あるいは周辺領域についてもしっかり学び、守備範囲を広げることも可能となる。

「例えば、『いつかタイへ行って、現地の人たちと一緒に、大好きなサッカーの写真雑誌の会社を起業したい』という学生の場合を考えてみましょう。この人はタイに関心があるのですから、『コラボレーション領域』から、『文化とコミュニティ』という科目を選ぶと、タイという国について詳しく学ぶことができます。同じく『スポーツとコミュニティ』という科目をとり、サッカーと地元社会の関わりについて考えてみるのもよいでしょう。出版社を作って写真雑誌を発行したいのなら、『メディアと空間情報領域』でメディアの役割を理解する。あるいは『ビジネス領域』で、起業のノウハウを身につける。このように、具体的なキャリアプランに沿った学びが可能です」

カリキュラムが柔軟で、途中で専攻を変えることもできるため、４年の間に将来やりたいことや進路の希望が変わっても、安心して学び続けることができる。その意味で、「なりたい自分」が実現しやすいカリキュラムともいえそうだ。

## 半年間の留学でアジアの成長を体感

文部科学省はグローバル人材の概念を、①語学力に裏打ちされたコミュニケーション能力、②主体性・積極性・協調性・リーダーシップといった特質、③自己アイデンティティと異文化理解力、と定義している。青山学院大学が考えるグローバル人材には、さらにキリスト教系大学ならではの理念が投影されると、平澤副学長は語る。

「青山学院大学らしいグローバル人材とは、社会科学系の幅広い素養と専門能力に加え、『地の塩、世の光』という本学のモットーを体現する人です。地球上のあらゆる人々に貢献しようという、キリスト教的な社会奉仕の精神をもって国際社会で活動してもらいたいと思いますが、それには語学力が不可欠です」

メソジスト系の宣教師によって開かれた青山学院は、当時から英語教育に熱心な学校として知られてきた。その伝統は、「地球社会共生学部」にも受け継がれている。

「１年生では、90分の英語の授業を週に６コマ行います。さらに課外授業や、ネイティブの教員のオープンオフィスなどを通じて勉強してもらい、最終的にはアジアで浸透しているIELTSで、6.0以上のスコアが取れるレベルを目指してもらいます」

英語重視の理由のひとつに、留学がある。「地球社会共生学部」では、半年間の留学が必須となっているのだ。留学先はタイやマレーシアを中心とする東南アジアが中心で、交換留学というケースも多い。語学留学は対象とならず、英語で講義を行っている大学の正規の授業か、留学生対象のプログラムを、半年間みっちり受講しなくてはならない。一度は留学をしないと卒業も認められないため、英語力の習得は、留学のためというだけではなく、卒業の必須条件でもあるのだ。

「欧米への留学も可能ではありますが、私たちの学部では、アジアと環太平洋、特にアジアへの留学に力を入れています。これから東南アジアが大きく変わっていくからです。

新学部の卒業生が社会の第一線で活躍する2050年頃には、アジアのGDPは世界の５割を超えるでしょう。その中心に位置するのが東南アジアです。発展途上にある国々の成長の過程を自分の目で見て、体験を通じて考え、その国に友人をつくる。アジアとの共生の道を探るうえで、大学時代の留学は、かけがえのない生きた経験になると思います」

留学にはもれなく「宿題」がついてくる。フィールドワーク、インタビュー、アンケート調査など、地元の人々の間に分け入って自ら調べ、レポートを提出するというものだ。

主要留学先となるタイの場合、バンコクに教員を常駐させ、フィールドワークの進捗状況を確認するほか、学習面や生活面に関するモニタリングやカウンセリングを行って、留学をサポートする体制をとるとのことだ。

青山学院大学の教育理念には、「地球規模の視野をもって」「知恵と力を身につけて社会に貢献する」といった文言が盛り込まれている。「知恵」は学問的な知識や判断力、「力」は体験を通して獲得する実行力、行動力、突破力を意味すると、平澤副学長が説明してくれた。

「みなさんが将来、『差別、貧困、紛争、情報格差』という課題に、それぞれの立場で取り組むうえで必要となる、充分な『知恵と力』を与えるのが、『地球社会共生学部』の使命です。人と人とがつながれば、今よりもっと、みんなが幸せに生きられるのではないか。この学部では、そんな漠然とした理想に確かな現実味を与えたいと思っています。世界には、『差別、貧困、紛争、情報格差』に起因する、さまざまな問題があふれています。その解決のために力を尽くしたいという、正義感を胸に秘めた若者に、ぜひ入学してもらいたいと願っています」

＊学部設置届出書提出中・収容定員増認可申請中

国際交流センターでは外国人留学生との交流の機会を提供。

留学生がチャットリーダーとなり、母語でコミュニケーションを楽しむ。

**青山学院大学**

1870年代に米国メソジスト監督教会が派遣した宣教師により創設された３つの学校を母体に開学。「英語の青山」と呼ばれる伝統ある外国語教育をはじめ、国際交流の場をキャンパスに設けるなど、グローバル・キャリア人材の育成に力を入れる。

NEWS Vol.24 by Magdalena Osumi

# 英字新聞記者の視点
## 日本のニュースを英語で発信しよう

日本で起こっていることを外国人に伝えるときは、
物事の背景を理解し、わかりやすく説明するスキルが求められる。
英字新聞 The Japan Times の記者に、
日本の「今」を世界に伝えるためのコツを教えてもらおう。

**今月の記者　大住マグダレナさん**
ポーランドのワルシャワ大学で日本語を学ぶ。2013 年からジャパンタイムズに。在日外国人インタビュー、通信社の記事の翻訳などを手がける。

## Topic 01 アメリカ出身の J-POP シンガー

Chris Hart's appearance on "Kohaku Uta Gassen," NHK's annual New Year's Eve music extravaganza last December, "became one of the most memorable stages (of his career) ," he said in a recent interview.

クリス・ハートは昨年 12 月、NHK の大みそか恒例の音楽ショー「紅白歌合戦」に出演、「(自身のキャリアの中で)最も思い出に残るステージのひとつとなった」と、最近のインタビューの中で語った。

美しい歌声で日本人を魅了するクリス・ハートさん／ YOSHIAKI MIURA

### J-POPの魅力にひかれ 独学で日本語を勉強

歌手のクリス・ハートさんはアメリカで生まれ育ちながら日本語に堪能、日本のテレビ番組に出演し、昨年は NHK 紅白歌合戦で松田聖子さんとデュエットしたことで注目を集めました。私自身、母国ポーランドで日本語を学び、今は日本に住んで仕事をしていることから、彼の活動に興味を覚え、インタビューをお願いすることにしました。

サンフランシスコで育ったハートさんが最初に日本に来たのは 13 歳のとき。学校の文化交流プログラムで、夏休みに２週間茨城県に滞在したのです。「風景や気候などすべてのものが新鮮で、日本の人がとても親切だったことが忘れられなかった」と語っています。

音楽の道を目指していたハートさんは、日本の Kiroro という音楽グループの歌「未来へ」を聞いて J-POP の魅力を発見。それ以来、J-POP の歌を聞きながら日本語を勉強し、自分で日本語の歌詞を書いたりもしていたそうです。

### YouTube をきっかけに メジャーデビュー

アメリカでは日本語通訳のアルバイトなどを経験しながら、ロックバンドで音楽活動を続けていました。そして 24 歳のとき、自動販売機の製造会社で働いていたところ、駐在員として日本に派遣されることになったのです。忙しい仕事の合間に自分の歌の動画を You Tube にアップロードしていたら、それに目を留めた日本人ミュージシャンの福永瞳さんからメールがあり、二人で歌うようになりました。それがきっかけでテレビ番組『のとじまん　ザ！ワールド』に出演、そこで優勝したことにより、ハートさんは日本でメジャー・デビューするきっかけをつかんだのです。福永さんとハートさんは出会いの時に「運命的なものを感じた」とのこと、その後二人は結婚しています。

J-POP の青山テルマさん、演歌のジェロさんなど、アメリカからやってきて日本で活動している歌手は数々いますが、たいていは、家族の中に日本人がいたり、子どものころ日本に住んでいたりしたことがあります。クリス・ハートさんの場合、日本に縁があったというわけではなく、自分から興味を持ち、独学で日本語を学び、日本にやってきてからチャンスをつかんだという点で、外国人歌手としては、あまりない例だと言えるでしょう。

J-POP はインターネットなどを通して海外でもよく知られるようになっていて、外国人のファンも増えています。ハートさんのように、「J-POP を聞いて育ち、日本で音楽活動をしたいと思った」という外国人ミュージシャンが、これからも現れるかもしれませんね。

＊参考記事
http://www.japantimes.co.jp/community/2014/05/13/our-lives/message-themes-woven-songs-j-pops-hart/#.U5wFeZR5Oqt

## Topic 02 国内最大級の洋書売り場が登場

One of Tokyo's largest bookstores relaunched its foreign books section after doubling its capacity and offering what it says is the largest selection of non-Japanese titles available nationwide.

東京最大の書店のひとつが、洋書売り場をリニューアル、在庫数は倍になり、国内で手に入る日本語以外の書籍のラインナップとしては、最大を誇るという。

### 12 万冊の品ぞろえ 人気のアメコミも豊富

新宿は東京の中でも外国人の姿が多い場所ですが、ショッピングモール「タカシマヤタイムズスクエア」の中にある紀伊國屋書店新宿南店は、洋書売り場を大幅に拡大して５月に「Books Kinokuniya Tokyo」としてリニューアルオープン。６階の売り場全体が洋書コーナーで、英語以外にもフランス語、ドイツ語、イタリア語、スペイン語など、あわせて約 12 万冊の洋書を置いています。

2011 年の東日本大震災ののち、多くの外国人が日本を離れ、同店を訪れる外国人の数も激減してしまったのですが、その後また大きく数が伸び、現在は震災前の水準を上回っているとのことです。

特に人気があるのは『X-Men』『Avengers』などのアメリカン・コミックで、日本にもファンが多く、ほかにはない品ぞろえであることから、アメコミを探しにこの店にやってくる人も多いようです。子ども向けの絵本も多く、大人だけでなく家族で楽しめる売り場となっています。子どものころから洋書絵本で英語にふれてほしいと考える日本の人にとっても、貴重なお店なのではないでしょうか。

### レベル別に選べる 多読コーナーを設置

また、特に日本人向けに、「多読コーナー」が設置されています。多読とは、１冊１冊をじっくり読むのではなく、わかりにくいところは適度に飛ばしながらできるだけたくさんの英語に触れてみようという学習法ですが、最初はどの本を読めばいいか戸惑う人もいるかもしれません。この多読コーナーでは、多読に向いた読みやすい洋書をレベル別に紹介しています。また本のレベル・あらすじ・レビューを書いたカタログも置いてあるので、自分に合った本を探すことができます。

洋書売り場には専門の洋書バイヤーがいて、専門書や見つけにくい本などを探している場合はそこで相談し、取り寄せてもらうことも可能です。

イベントに力を入れているのも大きな特徴で、英語絵本の読み聞かせや海外の作家のトークショーなどが開かれます。ちょっとした日本のおみやげなども置かれているので、海外から来る人に紹介してあげると喜ばれるのではないでしょうか。

今はタブレットで読む電子書籍が増えていて、紙の本を読む機会が減っているのではないかと思われがちですが、私は、ページをめくりながら読む紙の本には、独特の楽しみ方があると思います。Facebook でこの新しい売り場のことを紹介したときにも、大きな反響がありました。ぜひ一度、売り場に足を運んでみてはいかがでしょうか。

＊参考記事
http://www.japantimes.co.jp/news/2014/05/29/business/corporate-business/kinokuniya-revamps-foreign-books-section/#.U50JuJR5Oqs

**This month's selections from The Japan Times**
**～英文記事を読んでみよう～**

# Blue-eyed Austrian finds calling at shrine

## 27-year-old Florian Wiltschko is Japan's first foreign Shinto priest

**MAMI MARUKO**
STAFF WRITER

Walking through the torii, or gateway, to the quiet and serene Konnoh Hachimangu Shrine in Tokyo's Shibuya Ward — minutes away from the hustle and bustle of Shibuya's main "scramble crossing" — and being welcomed by a blond and blue-eyed Shinto priest seems almost surreal.

But once Florian Wiltschko starts talking, it is easy to forget that he is an Austrian, and that he started his career at the shrine two years ago.

"It was a calling," says Wiltschko, a "gonnegi," or priest, in a clear-toned voice.

Wiltschko, 27, is the first foreigner in Japan to become a Shinto priest.

"Walking this path (of Shintoism) has not been so easy, but there are many more days when I feel unparalleled joy in having chosen this job, and being able to continue this job," he says in fluent Japanese.

Although Wiltschko put a lot of time, energy and study into becoming a priest, he says he didn't intend to become one at first but the idea came quite naturally to him.

Born and raised in Linz, the third biggest town in Austria, Wiltschko had no connection to Japan at all before paying his first visit to the country in 2002, at age 15, when he accompanied his father, a geography teacher, on a sightseeing tour.

During his first visit, he bought a Shinto altar because he thought it was an interesting object, and installed it in his home back in Austria.

That altar, he says, was the beginning of his connection to Shintoism.

"I would pray every day at the altar, and that made me feel closer to Shintoism," he recalled.

Taking more interest in Japan and reading many books about its history, culture and literature, he returned to visit several more times, and gradually became more intrigued with the world of Shintoism.

After graduating from high school in his hometown, he served in the army for nine months, and then came to Japan to serve an apprenticeship at a shrine in Aichi Prefecture.

He then went back to Austria to study Japanology at the University of Vienna, where he read a lot of books on the country, including "Kojiki" ("Records of Ancient Matters"), which he read in its original form, in Japanese.

He later returned to Japan to study Shintoism at Kokugakuin University in Tokyo.

"I chose this route, because I heard this was the fastest way to take up Shintoism as a career," Wiltschko says.

Immediately after graduating, he began working at Konnoh Hachimangu Shrine, which is run by the family of a former classmate of his at Kokugakuin.

He says his parents have always been supportive, never judging or questioning his choice to become a Shinto priest.

As their only child, he imagines that his parents must have been worried that he lived so far away. But having seen their son work contentedly as a priest, he says they are now happy for him.

"I try to visit Austria from time to time, but whenever I plan something, my parents come to visit me in Japan instead," he says, laughing, adding that during his parents' last visit, they saw the place where he was living and working at the shrine and they seemed to be relieved that he had found such a nice environment, surrounded by kind colleagues.

**Florian Wiltschko stands in front of the entrance to Konnoh Hachimangu Shrine in Shibuya Ward, Tokyo, on May 15.** MAMI MARUKO

Wiltschko wakes up at 5:30 a.m. along with his fellow priests and does chores around the shrine, such as cleaning the rooms and the grounds, and preparing breakfast to offer at the altar. During the day, he offers different kinds of "matsuri," or festivals, at the shrine.

"Humans can live peacefully, because "hachiman sama" (deity) is always beside us. One of my biggest roles as a Shinto priest is to protect this place, so that people who visit the shrine can feel close to this land's deity. We make every effort to keep the place clean, bright, and refreshing," he says.

That is why the young priest laments the fact that some Japanese don't care to worship and give a prayer to the guardian deity when they visit the shrine.

"Some people just stop by at the shrine to have tobacco or a bento (boxed lunch), which is very sad," he says, adding that he would like the Japanese to regain their common sense and conscience to protect and live in harmony with nature, which is deeply embedded in its culture.

Noting the shrine's long history — 923 years — he says that it might be "an ideal environment, where the traditional spirit of Japan can still be encountered.

"I feel grateful to be here. I do have an iPhone, but I can feel and go back to nature whenever I clean up the place," he says.

Wiltschko is often asked why he doesn't attain Japanese citizenship because of his devoted attitude toward his career and fluent Japanese, he says. But he doesn't place any importance on nationality, and thus changing nationality doesn't mean anything to him.

Although his colleagues jokingly tell him "today your eyes are blue as usual," he says he normally doesn't have any consciousness that he's Austrian, especially in an environment where "no one talks about nationality."

He says he will continue to be a Shinto priest for the rest of his life.

"I look forward to finding out what I can do with my career in the future. Perhaps I can nurture or educate the next generation through my career and activities at the shrine," he says.

"I don't have any grandiose vision, like I want to change Japanese society or the shrine or something," Wiltschko says. "But I just want to devote myself to my career, enjoy the process of developing as a human being, and see where I end up."

---

# Narita Express train headed to Mount Fuji

## New service aims to help foreign tourists avoid changing lines in Tokyo

**ATSUSHI KODERA**
STAFF WRITER

The Narita Express railway service will run all the way to Mount Fuji starting this summer, offering travelers a potential way to skip the capital and its congested railway interchanges.

The distinctive red and black N'ex cars currently link the Tokyo area to Narita Airport in Chiba Prefecture. Under the new plan, East Japan Railway Co. and Fujikyuko Co. will be able to shuttle passengers much further, via JR and Fujikyuko lines, to Kawaguchiko Station in Yamanashi Prefecture, the nearest stop to the mountain.

The train will operate on weekends and national holidays, when it will make one return trip per day. The ride will take 3½ hours and will cost about ¥7,000 one way. It will operate between July 26 and Sept. 28.

It is scheduled to depart Narita Airport Station at 9:15 a.m. and arrive at Kawaguchiko at 12:43 p.m. The return ride to Narita Airport Station departs Kawaguchiko Station at 2:13 p.m.

The number of foreign tourists visiting Mount Fuji has been rising since UNESCO designated the 3,776-meter volcano, which straddles Yamanashi and Shizuoka prefectures, a World Heritage site in June 2013. The number of foreign visitors to Yamanashi Prefecture rose by more than a third to 483,000 last year from the year before. The results of a prefectural government survey suggest that about half of those visitors were attracted by Mount Fuji's designation as a World Heritage site.

While there are bus services that operate between central Tokyo and Kawaguchiko, JR East says travelers going from Narita Airport Station to Kawaguchiko Station by train currently need to take the Narita Express to JR Shinjuku Station and make a connection onto the JR Chuo Line, often with hefty luggage in tow. They then take a train to Otsuki Station and change to the Fujikyuko Line to Kawaguchiko.

The new service will provide easy access to must-see sites, said Hiroko Arai, a spokeswoman for Fujikyuko Co.

"Kawaguchiko Station is the nearest train station to Mount Fuji, and from there you can take various buses to sites such as Lake Kawaguchi, Lake Saiko, gondola lifts, lake cruise-boat quays, and Sengen Shrine, which forms part of the World Heritage designation," she said. "I recommend visiting any of the five lakes."

Arai said Tokyo residents can benefit from the new train service as well, since it includes stops at JR Tokyo, Shibuya, Shinjuku, Tachikawa and Hachioji stations.

The service requires reservations. Tickets go on sale a month beforehand and are available from booking offices and from JR East's Ekinet website.

グローバル企業訪問 | Vol. 24 | 住友商事株式会社

住友商事

# 世界に羽ばたく総合商社に 今も息づく住友スピリット

**海外 66 ヵ国に 115 の拠点を持ち、日本有数の総合商社としてグローバルに事業展開する住友商事株式会社。世界中のパートナーと手を取り合いながら、日々、新たなビジネスチャンスを追い求める姿には、長く受け継がれてきた住友の事業精神が息づく。**

## 多彩なアイテムを扱う 日本特有の「総合商社」

大都市は言うに及ばず、砂漠、ジャングル、山岳地などなど、世界中のありとあらゆる国と地域に足を延ばし、チャンスがあると見れば即座に拠点を作ってビジネスを行う……。住友商事株式会社、人事部部長代理で採用チーム長を務める本村恵三さんが紹介する総合商社の実態は、まさに世界中を舞台にあらゆる商売の可能性を追求する組織である。

「総合商社というのは、日本特有の業態と言われています。そもそも、資源のない日本が工業化の道を歩む段階で、海外から原材料を輸入し、加工して輸出するという貿易業務からビジネスが始まったのですが、扱う商材・サービスが非常に多岐にわたっていることが最大の特徴です」

ちなみに、本村さんが以前数えてみたところ、住友商事が扱うアイテムは、小さな部品まで含めると２万数千点にも上ったという。

国内外の輸出入・取引・販売という「トレード」業務に加えて、総合商社のもうひとつの基軸となる業務が「事業投資」だ。例えば鉱山開発に資金を投じ、そこから収益を上げる。また、こうした投資はトレード業務と密接に組み合わされて行われる。取引先が工場を建てるとなったらその費用や人手の一部を提供し、そこで産み出される製品を取引することで、さらに利益を得る。つまり「トレード」と「事業投資」を両輪に、多種多様な業界・業種を相手に世界中でビジネスを展開しているのが総合商社なのだ。

「トレードで手数料をいただくことはどんどん難しくなっています。そこでメーカーが支店を置かないような国や地域に行って売るとか、投資をして会社を作って利益を得るとか、商社ならではの強みを生かす方向へシフトしてきた結果が現在の姿。コンプライアンスに反すること以外は、常に利益を求めてどこにでも行くという姿勢です」

まさに「総合」商社。英文名称も「Sumitomo Corporation」としか表しようのない、日本独自のユニークで大規模な業態なのである。

## 「全力」で取り組み 「世界」に挑戦しよう

住友商事の事業は「金属」「輸送機・建機」「環境・インフラ」「メディア・生活関連」「資源・化学品」の５部門に分類されている。なかでも金属部門で扱う鋼管は、油田開発の現場で欠かせない製品であり、住友商事を代表する事業である。また、再生可能エネルギー関連のプラント建設などを手がける環境・インフラ部門は、特に昨今、学生の人気を集めているとのことだ。

各部門はそれぞれが専門商社のようなもので、独立採算。ただし、他の部門とタッグを組んで行う事業も数多く、顧客側からすると、一声かければあらゆる部門の専門家が揃って出てくるという、まさにワンストップのサービスを提供してもらえる。これも総合商社の強みだ。

「現在わが社では海外 66 ヵ国に 115 の拠点を置いていますが、これ以外にも事業会社を設立したり出張で出向いたりしているところもあります。基幹職（いわゆる総合職）の社員は約 3,800 名いますが、そのうちの４分の１は海外に駐在している。つまり、住友商事では、海外で働くということからは逃れられない（笑）と、ご理解ください」

本村さんご自身も、以前ニューヨークで人事の仕事をしていた経験があり、この６月からはロンドン駐在に。また、事務職として採用された社員でも、業務のなかで日常的に英語を使うことが多く、海外出張もある。グローバルな働き方を望むなら、総合商社は間違いなく魅力的だ。

そんな住友商事が社員に求めるものは「多様性」。とにかく数多くのビジネスモデルが展開しているので、さまざまなキャラクターの人間が必要となる。したがって採用も、学歴、性別、国籍、バックグラウンド、理系文系など関係なく、人物本位で行っていると本村さんは言う。

「2015 年入社の採用選考に向けて作ったキャッチコピーが『全力世界だ。』。全力とは、なんでも一生懸命やること。戦後、経験のない者ばかりで商事部門を立ち上げた時に拠りどころにしたのが、『熱心な素人は玄人に優る』という言葉。このスピリットを『全力』に込めました。『世界』はそのものずばり、グローバルに展開しましょうという意味です」

「全力世界だ。」――一生懸命全力で取り組んで、世界の広い舞台で活躍しよう――そんなスピリットを持っている人を求めているとのことだ。

人事部部長代理採用チーム長の本村恵三さん

## 入社して10 年の間に 必ず経験する海外勤務

「商社は人がすべて」と謳う住友商事では、「入社後 10 年間に３つの異なる職務を経験し、そのうち最低１年間は海外勤務とする」という人事の基本方針と、年間約 300 の講座を開催する企業内大学「住商ビジネスカレッジ」による研修制度の二本立てで人材育成を行っている。

まず入社後 10 年間はビジネスの基礎を身につけるという意図のもと、いくつかの地域、担当、業務内容を経験することで、ひとつの部門のスペシャリストであり、多様な価値観を認められる人材へと導く。同時に、限られた人員で多方面の仕事に対応しなければならない海外での環境を経て、応用力の向上をも図っている。

さらに、新人の時から始まる英語・貿易実務などさまざまな研修によって、商社パーソンとしての知識やスキルに磨きをかけていくのだ。

「後発ということから、弊社は研修が充実していて、“ 研修商社 ” なんて言われるほど。互いに切磋琢磨し合う社風でもあり、社員はみな本当によく勉強します。法律や投資の知識など、わかっていなければお客様に説明もできない。また、リーダーシップや組織マネジメント力を高める研修も取り入れています」

なお、採用時の語学力は特に問われないが、各ステップごとに英語能力テストの基準点をクリアするように求められ、業務で英語を使うなかで否応なしに身につけていくのだという。

## 厳しい行動規範が 事業拡大のエネルギー

充実した研修制度に加えて、住友商事が最も重要視している人材教育がある。それは、かつての住友の事業精神を見直すべく、経営理念と行動指針を９項目の基準に落とし込

５つの事業部門が連携してさまざまな産業分野に挑む「総合力」が強みだ。

Visit a Global Company

世界に広がるネットワークを生かし、新たな市場開拓にも余念がない。

み、英訳を付して「SC VALUES」と名づけられたものだ。

1. 信用・確実／2. 総合力／3. ビジョン／4. 変革マインド／5. コミットメント・自責／6. 情熱／7. スピード／8. 人材開発／9. プロフェッショナル

例えば1の「信用・確実」なら、「法と規則を守り、高潔な倫理を保持する」という基準が守れているかどうか、常に自分に問いかけ、部下の評価時にも使用する。あるときは部下から上司への評価基準にもなり、自らの目標達成の指針にもなる。全社員は常に携帯し、ことあるごとに見直す。それは海外スタッフもまったく同じで、この同じモノサシを使って評価される。

「世界中の人間が、いろいろな国のいろいろな風土のもとで実にさまざまなビジネスモデルを展開しているので、こうした“コア”になる理念がないとまとまらない。どんな仕事に携わっていても、これだけは守る……というものです」と本村さん。

住友の事業精神を語るときに忘れてならないのが、別子銅山への訪問研修だ。1691（元禄4）年に開抗され、1973年に閉山された愛媛県の別子銅山では、燃料にする木を伐採して禿げてしまった山に、19世紀末から年間100～200万本の植林を行っていたという。住友グループの礎となったこの銅山に、今も住友商事の社員が定期的に登っている。銅山で流された汗や尊い命を思い、住友の歴史を振り返るとともにグループの一員であることの誇りを再認識するのだ。

「儲けるだけではだめで、利益はきちんと還元する。それが信用につながる。いちばん大切なのは信用です。たとえ損をしてでもお客様の信用を第一にしろ、と徹底的にたたき込まれます。コンプライアンスと利益なら、絶対にコンプライアンスを優先しろというのが、歴代社長の言葉です」

世界中にネットワークを結び、最前線で日々情勢をにらみながら商機をつかんでは新しいビジネスの可能性を探る。リスクも覚悟のうえで変化を先取りし、新しい仕組みを考え、次々に仕掛けていく「総合商社」の仕事。高いハードルを越え続ける喜びが強烈であるからこそ、厳しすぎるほどのコンプライアンス遵守と利他に基づく事業精神をなによりも大切にしている企業である。

### Corporate Information

**住友商事株式会社**

17世紀から続く「住友家」を祖とする住友グループの商事部門として、第二次大戦後の1945年に30数名の社員で商事活動を開始。後発ながら日本を代表する総合商社となり、現在では五大商社のひとつに。国内24拠点、海外66ヵ国に115拠点という全世界に展開するネットワークを生かし、多種多様な商品やサービスの販売・輸出入、三国間取引（トレード）を行う。さらに、国内外における事業投資をもうひとつの基軸とし、その両輪で事業を展開。常に約1,000人の社員が海外に駐在して活動している。

グローバル企業の先輩に聞く！

# 自分の付加価値を見いだし最高のパフォーマンスを

**柳 亮介さん**　住友商事株式会社 食料部　部長付　穀物油脂チーム

2003年4月入社。食料事業本部油脂部で大豆、菜種の輸入から油全般の輸出業務を担当。2010年8月から豪州メルボルンにて小麦の輸出を担当。2年後に帰国し、穀物の三国間取引を担当。

### Q 総合商社を目指した理由を教えてください。

大学時代は体育会ボート部に所属し、楽しくつらく、そして狭い世界でボートに打ち込む日々を過ごしていましたが、あるとき海外遠征に出て、他国の学生たちの価値観や取り組む姿勢に接し、あまりの違いに驚きました。でも、その経験から、まったく価値観の違う人たちとの接触が刺激的な人生につながるのかもしれないと思い始め、社会人になったら大きな世界で戦いたい！　と感じたのが、住友商事を受けるきっかけでした。

### Q 商社の仕事のおもしろさとは？

言い古されているかもしれませんが、商材・サービスそのものが決まっていないので、発想いかんでいろいろなビジネスの可能性をつかむことができます。そして、信念を持ってきちんと説明できる知識が自分にあれば、実際に具体化できるフィールドも用意されている。そこはやはり、総合商社ならではのエキサイティングな魅力だと思います。と同時に、自分でビジネスの種を見つけて商売を作らなければ何も始まらないというプレッシャーもあります。私が担当している穀物で言えば、シカゴの穀物相場で毎日価格が提示されているので、そこに説明のつかない利ざやを乗せることはできません。とすると、取引先に対して、住友商事が間に入る付加価値を示さなければなりません。付加価値は時代や世界情勢によって刻々と変わっていくので、それを見極める力も必要です。

### Q 海外駐在の感想を聞かせてください。

たいへん大きな糧になったと感じています。違う価値観の人たちと一緒に仕事をすることは貴重な体験でした。言葉の問題だけでなく、仕事の進め方も全然違います。また、自分が勝手に抱いていたオープンでドライな欧米人の人間像と、駐在先のオーストラリア人はずいぶん違っていて、そういうことも新鮮でした。英語については、内定の時点では会話はあまりできませんでした。大学入試の時点でも苦手科目だったうえに、4年間ボートばかりやっていましたから（笑）。ただ、営業部に配属されればすぐに海外との接点があり、仕事の中でなんとか身につけていきました。ステップごとの基準点をクリアするのに、会社の研修制度も利用しました。入社してすぐに海外からのお客様をホテルにピックアップしに行った時は、何を話していいかわからず、結局一言も話さずに帰ってきてしまいましたね（笑）。

### Q 商社の仕事の醍醐味を感じる時は？

ここ10数年の間にも、世界の穀物情勢は大きく変わっています。2003年の時点では日本が購入するトウモロコシが世界でいちばん大きな取引だったのに、今では中国の大豆輸入量が穀物トレードのメインストリームであり、それを支えているのがブラジルです。このように、大きく流れが変わる時がビジネスチャンスでもあります。政治情勢の転換も影響します。そういったなかで、先の流れを読み、次の手を打ってそれが当たったときは大きな喜びがあります。また、同じ目的に向かって打てば響くような仕事のチームが作れたときというのは、醍醐味を感じる瞬間です。

### Q 商社パーソンに求められるものは？

以前先輩に言われたことですが、仕事とは前任者から受け継ぎ、ある一定の期間担当してまた後任者に引き渡します。受け継いだものを100%そのままで引き渡したら、僕の存在価値はない。そこに自分なりのエッセンスで自分なりの付加価値をつけて引き渡す――それをみんながやれば会社はどんどん成長していく。それが求められていることだと思いますが、そのためには人間としての力を高め、自分が持つ役割や効果を最大限に生かすことが必要ですね。

### Q 大学時代にやっておくべきことは？

やってよかったと思ったのは、ボートに打ち込んできたこと。そのことを通じて得られたのは友人たちとの強い信頼関係です。つきあい方は人それぞれでしょうが、こうしたコミュニティを持っておくということはとても大切なことだと思います。大学時代で後悔していることがあるとすれば、早い段階で留学などの手段を通して、海外でも同じようなコミュニティを作れていればよかった、ということ。きっと、自分の価値観がぐいっと一気に広がるきっかけになっただろうと思います。

### 柳さんのお仕事アイテム

入社以来、穀物全般を担当。初めての海外勤務は、住商が小麦の供給拠点を持つ豪州メルボルンでした。うどんの材料となる「ヌードルウィード」を作ってくれる農家にうどんを試食してもらったことも。

# 失敗ケースから学ぶ 成功する留学の法則

留学アドバイザーが指南

**留学で陥りやすい失敗談には、実は成功の秘訣がたくさん隠されているもの。海外留学をより充実させるための法則とは何か。日本初の留学アドバイザーとして、40年以上にわたり数多くの学生の留学を成功へと導いてきた、栄陽子留学研究所の栄陽子さんが指南する。**

## Case 05 寮のルームメイトと気が合わなくて悩み中。

留学生活が始まるにあたって、寮生活をとても楽しみにしていました。ところが、入寮してみるとルームメイトと打ち解けられず、ストレスを感じる毎日。生活習慣の違いから意見が合わず、ケンカになることもあります。こんな調子で今後、大丈夫なのか不安です。

### ＼Point／ 寮生活は未来につながる成長の場

多くの場合、新入生には大学が学生の部屋とルームメイトを割りあてますので、当然、「気が合わない」ということも。寮内には学生の生活を見守り、問題を解決するスタッフがいますので、不安があれば相談してみてください。どうしても部屋を変更したい場合は申請できる寮もありますが、それが得策かは一度立ち止まって考える必要があるでしょう。

大学における寮は、滞在する場所に留まらない重要な役割を担っています。多様なバックグラウンドを持つ仲間が一つ屋根の下で暮らす環境は、まさに社会の縮図。お互いに助け、時にはぶつかり合いながら、社会に出た時に必要な力を培うのです。過去に、ルームメイトとうまくいかず日本に帰りたいと思いつめていた学生がいました。ある日、寮に帰るとそのルームメイトが部屋で泣いていたそうです。理由はホームシック！　親元から離れて不安なのは世界中みんな同じ。そう気づくと急に親しみが持てたのだとか。くじけそうなときは思いきって周りに助けを求めることも大切です。理解が深まりますし、そこから得た新しい発見を積み重ねることで視野が広がり、社会性や困難を乗り越える力となるのです。アメリカでは2年次になると仲のよい学生同士で部屋をシェアできますが、その頃には初めてのルームメイトがかけがえのない友となっているかもしれませんね。

## Case 06 留学で英語力を磨いたのに就職先が決まりません！

大学2年次から1年間、カナダへ留学し、現在、日本で就職活動をしています。志望しているのは、留学で身につけた英語力を生かせる企業。周りの大学生に比べると英語能力テストの点数も高く、就職には有利なはずなのに、なかなか内定がもらえません。

### ＼Point／ 求められるのは「生きる力」

残念ながら企業の採用担当者から「海外経験のある学生とない学生の差を感じず、留学が採用の決め手とならない」という話をよく聞きます。日本で今、求められるのは、広い視野でものごとを判断し、ときには日本でしか通用しないような観念をひっくり返して問題を解決できる力＝「生きる力」。英語力だけで国際社会を歩むことはできないのです。

「生きる力」は、留学中ぼんやりと過ごしていて身につくものではありません。多様な価値観を体験しながら、ところどころでぶつかる壁を乗り越えてこそ培われるもの。新聞を読む、ボランティア活動に参加する、多国籍な仲間と意見を交わし寝食を共にする、長期休みに異国を旅する……。経験を積む場はいくらでもつくれます。私は留学先に着物を持参し、老人ホームで着付けを教えたりパーティーに着て行ったりすると喜ばれ、それが縁で別の場から声がかかるようになりました。また、あらためて大学選びがとても大切だということも納得できますね。多国籍な学生を受け入れる大学、学生や教授との距離が近い大学などを選ぶこともポイント。留学中に「周りは日本人ばかり」なんて状況に陥ることなく、経験を増やし、自分への問いかけを続けてください。そうすることで、地球規模の視点と自力で困難を克服できる「生きる力」を備えた、魅力的な人材へと成長するのです。

栄陽子留学研究所　http://www.ryugaku.com/
イラスト／よねやまゆうこ

## BOOK REVIEW

未来のグローバルリーダーに

## 読んでほしい1冊 ――『民法はおもしろい』

### 日本人の価値観を映し出す民法を学ぼう

著者がまず力説するのは、民法が私たちの生活にいかに密接に関わっているか、という点だ。本文の言葉を借りるなら、民法は“From the cradle to the grave（ゆりかごから墓場まで）”、私たちの生活に生涯にわたり関わってくる。考え方によっては、ゆりかごに乗る前からお墓に入った後までの全てが民法で規定されている、とも言えるのである。「民法を知らないと、生きる上で損をする」という著者の言葉を取ってみても、民法に触れてみる十分な動機になるだろう。また、世界という舞台に飛び出す前に、まず自国のルール・生活規範について知識を持っておくことはとても意義深い。この本は、民法という一見とっつき難いテーマを通して、日本人としての私たちの価値観、考え方を改めて意識するきっかけとなるだろう。

将来世界に羽ばたく皆さんに、本書が教えてくれること。それは、民法は国民性を非常に色濃く反映しているという事実である。100年以上の歴史を持つフランス民法。それを追うように制定されたドイツ民法。そして、その二つを組み合わせることによって誕生し、明治から現代へと続く近代日本民法典。三国の民法を比較してみると、まさしく「十国十色」、その国の特徴が表れていることがよくわかる。

本書は、法律家ではなく私たち市民の視点で綴られている。知識として民法に触れることができ、民法という模糊としたものに対するイメージが一新されること、請け合いである。

（英検 グローバルリーダー研究グループ　西畑瑠依子）

池田真朗 著　講談社現代新書／821円（税込）

Scholarship List

# 奨学金情報

みなさんの留学をサポートしてくれる奨学金制度をご紹介。それぞれ、年齢や居住地域など応募条件が異なるため、必ず事前に問い合わせてから応募しよう。

1）給付元 2）募集期間 3）募集人数 4）給与内容 5）お問合せ

## 日本政府奨学金

**● 海外留学支援制度（長期派遣）**
1）独立行政法人日本学生支援機構（JASSO）
2）在籍大学に問い合わせ
3）未定
4）月額 89,000 円～ 148,000 円
（派遣先地域による）、授業料実費（上限 250 万円）
5）03-5520-6014
（留学生事業部海外留学支援課 長期派遣担当）

**● 海外留学支援制度（短期派遣）**
1）独立行政法人日本学生支援機構（JASSO）
2）在籍大学に問合せ
3）未定
4）月額 6 万円～ 10 万円（派遣先地域による）
5）03-5520-6014
（留学生事業部海外留学支援課 短期留学（派遣）担当）

## 地方自治体奨学金

**● 茨木市国際親善都市協会 留学生奨学金**
1）茨木市国際親善都市協会
2）5 月頃
3）20 名程度
4）年額 6 万円
5）072-620-1604

**● 埼玉県・オハイオ州スカラシップ 機械工学系**
1）ニッシン・ブレーキ・オハイオからフィンドレー大学に寄附
2）10 月初旬締め切り
3）2 名
4）2 万ドル（授業料、住居費等）
5）048-830-2713（県民生活部 国際課 国際戦略担当）

**● 埼玉県・オハイオ州スカラシップ 総合系**
1）埼玉県
2）10 月初旬締め切り
3）1 名
4）授業料
5）048-830-2713（県民生活部 国際課 国際戦略担当）

**●「埼玉発世界行き」学位取得コース**
1）埼玉県グローバル人材育成基金
2）4 月下旬～ 6 月上旬
3）15 名以内
4）①年間世帯所得が 600 万円未満の方、年間 100 万円以内　②同 600 万円以上 800 万円未満の方、年間 75 万円以内　③同 800 万円以上の方、年間 50 万円以内
5）048-833-2995
（公財）埼玉県国際交流協会
グローバル人材育成センター埼玉

**●「埼玉発世界行き」協定・認定留学コース**
1）埼玉県グローバル人材育成基金
2）4 月下旬～ 6 月上旬
3）200 名以内
4）20 万円以内
5）048-833-2995
（公財）埼玉県国際交流協会
グローバル人材育成センター埼玉

**●「埼玉発世界行き」高校生留学コース**
1）埼玉県グローバル人材育成基金
2）4 月下旬～ 6 月上旬
3）50 名程度
4）①保護者の所得が 600 万円未満の場合：留学期間 179 日以下 30 万円、留学期間 180 日以上 60 万円　②保護者の所得が 600 万円以上 800 万円未満の場合：留学期間 179 日以下 23 万円、留学期間 180 日以上 45 万円　③保護者の所得が 800 万円以上の場合：留学期間 179 日以下 15 万円、留学期間 180 日以上 30 万円
5）048-833-2995
（公財）埼玉県国際交流協会
グローバル人材育成センター埼玉

**● 戸田市海外留学奨学制度**
1）埼玉県戸田市
2）第 1 回：7 月 4 日まで
第 2 回：2015 年 1 月 16 日～ 2 月 6 日まで
3）若干名
4）授業料及び生活費、渡航費（限度額あり）
5）048-441-1800（教育委員会 教育総務課 総務担当）

**●（公財）長岡市米百俵財団 海外高校留学生奨学金**
1）（公財）長岡米百俵財団
2）～ 8 月 6 日
3）3 名程度
4）AFS または YFU のプログラム参加費
5）0258-39-2238（事務局）

**●（公財）新潟市国際交流協会 新潟市高校生留学支援事業**
1）（公財）新潟市国際交流協会
2）　～ 7 月 7 日
3）3 名
4）プログラムの参加費半額
5）025-225-2727（高校生留学支援事業係）

**● 松本・土井アイリン海外留学助成金**
1）宝塚市
2）第二回：2014 年 12 月 12 日〆切
第三回：2015 年 2 月 13 日〆切
3）未定
4）留学 1 回につき 60 万円
5）0797-77-2009
（産業文化部 宝のまち創造室 国際文化課）

**● 三重県私費海外留学生奨学金**
1）三重県
2）3 月上旬～ 4 月中旬
3）10 名以内
4）年間授業料相当額
5）059-223-5006（（公財）三重県国際交流財団）

**● 瑞穂町海外留学奨学資金等支給制度**
1）瑞穂町教育振興基金
2）毎年 6 月 1 日～ 6 月 30 日（第 1 期）
毎年 1 月 4 日～ 1 月 31 日（第 2 期）
3）若干名
4）奨学資金（留学先学校の授業料またはこれに準ずると認められる費用）、渡航費
5）042-557-7469（企画部 企画課 企画係）

**● 山梨県アイオワ州短期派遣留学生**
1）アイオワ州姉妹州委員会または留学先
2）4 月中旬まで
3）1 名
4）12 単位分の授業料など
5）055-223-1436
（山梨県観光部 国際交流課 国際交流担当 ）

**● 山梨県派遣留学生**
1）忠清北道
2）1 月上旬まで
3）1 名
4）支度料、滞在費、国内旅費、語学研修費、宿舎管理費、厚生費など
5）055-223-1436
（山梨県観光部国際交流課 国際交流担当）

**● 四日市市科学教育奨学金**
1）四日市市教育委員会
2）～ 7 月 4 日（必着）
3）毎年 1 人
4）月額 10 万円
5）059-354-8236（教育総務課）

**● 淀江町青少年ゆめ基金活用事業補助金**
1）淀江町青少年ゆめ基金活用委員会
2）未定　　3）未定
4）学費、渡航費を 200 万円まで
5）0859-56-3164

## 民間団体奨学金

**● IRENA Scholarship Programme**
1）国際再生可能エネルギー機関（IRENA）
2）第一期：5 月末〆切、第二期：10 月末〆切
3）最大 20 名
4）授業料、教材費、ノートパソコン、医療保険、住居費、旅費、一部生活費など
5）scholars@irena.org

**●（公財）アステラス病態代謝研究会 海外留学補助金**
1）（公財）アステラス病態代謝研究会
2）4 月～ 6 月上旬
3）10 名程度
4）1 名あたり 200 万円
5）03-3244-3397（事務局）

**●（公財）飯塚毅育英会 海外留学支援奨学金**
1）（公財）飯塚毅育英会
2）～ 7 月 15 日（必着）
3）15 名程度
4）大学生：年額 40 万円　大学院修士課程：年額 60 万円
大学院博士課程：年額 80 万円
5）028-649-2121（事務局）

**● 石橋財団奨学金（日本国際教育支援協会冠奨学金）**
1）（公財）石橋財団
2）6 月中
3）5 名
4）月額 15 万円
5）03-5454-5274（(公財）日本国際教育支援協会
国際交流課　奨学係／担当：藤田）

**●（公財）伊藤国際教育交流財団 日本人奨学金**
1）（公財）伊藤国際教育交流財団
2）～ 8 月 25 日（消印有効）
3）13 名
4）プログラム A：生活費月額 US2000 ドル相当の円貨、学費、往復旅費　プログラム B：生活費月額 US1500 ～ 2000 ドル相当の円貨、学費、往復旅費
5）03-3299-7872（伊藤国際教育交流財団事務局）

**● イリノイ大学日本同窓会 小山八郎記念奨学制度**
1）イリノイ大学日本同窓会
2）～ 10 月 31 日
3）4 名
4）年間授業料
5）masa.furuichi@illini-club.jp
（日本同窓会事務局／担当：古市）

**● オリエント財団奨学金**
1）Fundacao Oriente
2）毎年 1 月
3）若干名
4）学費、渡航費など
5）info@foriente.pt

**● Kiyo Sakaguchi 奨学金**
1）ブルデンシャル生命保険株式会社
2）～ 9 月 30 日　　3）1、2 名
4）授業料年間最大 300 万円、最長 4 年
5）03-5501-5500（代表）

**●（公財）グルー・バンクロフト基金 奨学金制度**
1）（公財）グルー・バンクロフト基金
2）9 月 16 日（消印有効）
3）5 名
4）①毎年 200 万円を 4 年間支給。ただし留学先より授業料（全額）を免除される場合は、生活費として 100 万円を 4 年間支給（3 名）　②毎年 100 万円を 4 年間支給（2 名）
5）03-3408-6343

**● 群馬県大学生海外留学奨学金**
1）（公財）ぐんま国際教育財団
2）～ 4 月中旬
3）一般留学：3 名　研修留学：5 名
4）一般留学：60 万円　研修留学：30 万円
5）0276-60-3450

**● 公益信託グラクソ・スミスクライン国際奨学基金**
1）グラクソ・スミスクライン株式会社
2）4 月上旬～ 5 月中旬
3）3 名以内
4）年額 360 万円を 2 年間支給
5）03-5786-5000（代表）

**● 皇太子明仁親王奨学金**
1）皇太子明仁親王奨学金財団およびハワイ大学財団
2）11 月 17 日～ 28 日必着
3）1 名
4）ハワイ大学の学費、生活費等として年間 2 万 5 千ドル、渡航旅費（上限あり）
5）03-6741-0161（皇太子明仁親王奨学金日本委員会）

**● 交流協会奨学金留学生**
1）（公財）交流協会
2）10 月下旬まで
3）若干名
4）奨学金：14 万 4000 円（修士課程及び専門職学位課程）、14 万 5000 円（博士課程）の月額基本額に加え、特定の地域で修学・研究する者に対して、月額 2000 円又は 3000 円を加算して支給、授業料、帰国旅費
5）03-5573-2600（総務部 奨学金担当）

**● 国際ロータリー グローバル補助金**
1）国際ロータリーのロータリー財団
2）未定　　3）未定
4）3 万ドル以上
5）各地区ロータリー財団委員会事務局

**● 国際ロータリー 新地区補助金**
1）国際ロータリーの各地区のロータリー財団
2）各地区により異なる
3）各地区により異なる
4）制限なし
5）各地区ロータリー財団委員会事務局

**● 佐藤陽国際奨学財団 海外派遣留学生奨学制度**
1）（公財）佐藤陽国際奨学財団
2）未定　　3）未定
4）奨学金月額 8 万円、渡航費 25 万円、交換留学一時金 10 万円
5）03-5487-2775（事務局）

**● CWAJ 海外留学大学院女子奨学金（SA）**
1）College Women's Association of Japan
2）HP に掲載予定
3）1 名
4）300 万円
5）scholarship@cwaj.org

**● 静岡市国際交流協会**
**ネブラスカ州立大学オマハ校奨学生**
1）（公財）静岡市国際交流協会
2）5 月中旬
3）1 名
4）正規授業料減免（通常の約 3 分の 1、約 9600 ドルの減額）最長 5 年間、渡航費一部負担
5）054-354-2009

**● 私費訪中留学生奨学金**
1）（公財）東華教育文化交流財団
2）毎年 6 月
3）未定
4）月額 3 万円を 1 年間
5）03-3571-7613

**● 秀桜基金留学賞**
1）秀桜基金
2）毎年 9 月～ 10 月
3）3 名
4）300 万円
5）086-528-9530（秀桜基金事務局）

**● 高橋＆ハワット記念奨学金**
1）NPO 日本スコットランド協会
2）3 月～ 4 月
3）2 名
4）30 万円
5）03-6380-5256

**● ダスキン障害者リーダー育成海外研修派遣事業**
1）（公財）ダスキン愛の輪基金
2）9 月～ 11 月末日
3）5 ～ 8 名程度
4）上限 4 万 US ドル（渡航費・研修委託費・日常生活費等）
5）06-6821-5270

**●（公財）中島記念国際交流財団 日本人海外留学奨学生**
1）（公財）中島記念国際交流財団
2）8 月 1 日～ 29 日（必着）
3）10 名程度
4）奨学金：月額 20 万円、渡航費：往復支給、支度金：20 万円、授業料：留学当初の 2 年間に限り、年間 300 万円以内を支給
5）03-5770-8210

**●（公財）中冨健康科学振興財団 留学助成金**
1）久光製薬株式会社
2）7 月～ 9 月
3）未定
4）留学助成金 1 名あたり 50 万円
5）Web で問合せ
（中冨健康科学振興財団 東京事務局）

**● 日本／世界銀行 共同大学院奨学金制度**
**レギュラープログラム**
1）世界銀行本部
2）4 月下旬まで
3）10 名程度
4）学費、生活費、渡航費、医療保険など
5）jjwbgsp@worldbank.org（奨学金事務局）※英語のみ

**● 日本／世界銀行 共同大学院奨学金制度 NGO プログラム**
1）世界銀行本部
2）～ 3 月下旬
3）5 名程度
4）学費、生活費、渡航費、医療保険など
5）jjwbgsp@worldbank.org（奨学金事務局）※英語のみ

**● 馬場財団国際理解教育人材養成奨学金**
1）（公財）日本国際教育支援協会
2）～ 1 月下旬
3）7 名程度
4）渡航費（成田・関西から留学先主要都市までの往復相当）、奨学金（月額 10 万円 × 留学月数［3 ヶ月以上 12 ヶ月以内］）
5）03-5454-5274（事業部 国際交流課／担当：松田）

**● Funai Overseas Scholarship**
1）（公財）船井情報科学振興財団
2）7 月中旬～ 10 月中旬
3）10 名程度
4）授業料全額、医療保険費全額、生活費月額 2500 ドル、支度金 50 万、渡航費
5）03-3254-5635（財団事務局）

**●（公財）平和中島財団 日本人留学生奨学生**
**（中島健吉記念奨学金）**
1）（公財）平和中島財団
2）9 月～ 10 月（8 月に HP に掲載予定）
3）15 名
4）学部生：月額 15 万円、渡航費
大学院生：月額 20 万円、渡航費
5）03-5570-5261（事務局 日本人留学生係）

**●（公財）松下幸之助記念財団 松下幸之助国際スカラシップ**
1）（公財）松下幸之助記念財団
2）～ 7 月 25 日（必着）
3）最大 10 名
4）月額 13 ～ 15 万円を 1 年または 2 年分、渡航費
5）06-6908-4488

**● 村田海外留学奨学金**
1）（公財）村田海外留学奨学会
2）7 月 1 日～ 8 月 29 日（消印有効）
3）2 ～ 4 名
4）学費、生活費、渡航費など留学に要する経費
5）075-681-2345（事務局）

**●（公財）明治安田クオリティオブライフ文化財団**
**「海外音楽研修生費用助成」制度**
1）（公財）明治安田クオリティオブライフ文化財団
2）～ 4 月中旬
3）4 名程度
4）年額 200 万円（原則 2 年間）
5）03-3349-6194

**●（公財）ヤマハ発動機スポーツ振興財団 海外留学生奨学金**
1）（公財）ヤマハ発動機スポーツ振興財団
2）9 月上旬～ 11 月中旬
3）若干名
4）月額 10 万円（最長 2 年間）
5）0538-32-9827

**●（公財）吉田育英会 日本人派遣留学プログラム**
1）（公財）吉田育英会
2）9 月下旬まで
3）5 名
4）生活滞在費：月額 20 万円、学校納付金：合計 250 万円以内、扶養補助（該当者のみ）、渡航費
5）03-5610-8103（吉田育英会事務局）

## 外国政府等奨学金

**● ヴァニエ・カナダ大学院奨学金**
1）カナダ社会・人文科学研究会議、カナダ自然科学・工学研究会議、カナダ保健研究機構の 3 つの連邦給付機関
2）9 月頃
3）最大 500 名
4）年間 5 万カナダドル（最長 3 年）
5）vanier@cihr-irsc.gc.ca

**● オーストラリア政府奨学金 エンデバー大学院奨学金**
1）オーストラリア国際開発庁および
技術革新産業科学研究高等教育省
2）4 月～ 6 月末
3）未定
4）最高で、博士課程：27 万 2500 オーストラリアドル、修士課程：14 万 500 オーストラリアドル
5）endeavour.awards@innovation.gov.au

**● オーストラリア政府奨学金**
**エンデバーチュン・コン研究奨学金**
1）オーストラリア国際開発庁および
技術革新産業科学研究高等教育省
2）4 月～ 6 月末
3）研究フェローシップ受賞者のうち上位 5 名
4）最高で、2 万 4500 オーストラリアドル
5）endeavour.awards@innovation.gov.au

**● オーストラリア政府奨学金 エンデバー研究フェローシップ**
1）オーストラリア国際開発庁および
技術革新産業科学研究高等教育省
2）4 月～ 6 月末
3）未定
4）最高で、2 万 4500 オーストラリアドル
5）endeavour.awards@innovation.gov.au

**● オーストラリア政府奨学金 エンデバー専門技術奨学金**
1）オーストラリア国際開発庁および
技術革新産業科学研究高等教育省
2）4 月～ 6 月末
3）未定
4）最高で、13 万 1000 オーストラリアドル
5）endeavour.awards@innovation.gov.au

**● 高円宮記念クィーンズ大学奨学金**
1）クィーンズ大学、在日カナダ大使館
2）3 月下旬
3）未定
4）2 万 5000 カナダドル
5）awards@queensu.ca

**● Dr Goh Keng Swee Scholarship**
1）Association of Banks in Singapore（ABS）
2）11 月から募集開始
3）3 ～ 4 名
4）学費および必要経費、渡航費（往復）、生活扶助（年間 6500 シンガポールドル）、寮費、準備金（200 シンガポールドル）
5）applications@psd.gov.sg

**● バンティング博士研究員奨励金**
1）カナダ保健研究機構、カナダ自然科学・工学研究機構、カナダ社会・人文科学研究機構の 3 つの連邦研究助成機関
2）7 月～ 10 月下旬まで
3）各年 70 名
4）年間 7 万カナダドルを 2 年間
5）banting@researchnet-recherchenet.ca

**● 大学院留学（学術系学位）プログラム**
1）日米教育委員会（フルブライト・ジャパン）
2）2 月～ 5 月
3）約 20 名（「大学院博士論文研究プログラム」を含む）
4）渡航費、生活費（留学先によって金額が異なる）、授業料（大学院留学プログラムのみ）および家賃、着後雑費、別送荷物、同伴家族に対する補助手当て。また、疾病・障害をカバーするフルブライトグループ保険（本人のみ）
5）03-3580-3233

**● 大学院留学（専門職学位）プログラム**
1）日米教育委員会（フルブライト・ジャパン）
2）2 月～ 5 月
3）約 5 名
4）渡航費、生活費（留学先によって金額が異なる）、授業料（大学院留学プログラムのみ）および家賃、着後雑費、別送荷物、同伴家族に対する補助手当て。また、疾病・障害をカバーするフルブライトグループ保険（本人のみ）
5）03-3580-3233

**● 大学院博士論文研究プログラム**
1）日米教育委員会（フルブライト・ジャパン）
2）2 月～ 5 月
3）約 20 名（「大学院留学学術系学位プログラム」を含む）
4）渡航費、生活費（留学先によって金額が異なる）、家賃、着後雑費、別送荷物、同伴家族に対する補助手当て。また、疾病・障害をカバーするフルブライトグループ保険（本人のみ）
5）03-3580-3233

**● 研究員プログラム**
1）日米教育委員会（フルブライト・ジャパン）
2）2 月～ 5 月
3）約 10 名
4）渡航費、生活費（留学先によって金額が異なる）、家賃、着後雑費、別送荷物、同伴家族に対する補助手当て。また、疾病・障害をカバーするフルブライトグループ保険（本人のみ）
5）03-3580-3233

**● ジャーナリストプログラム**
1）日米教育委員会（フルブライト・ジャパン）
2）2 月～ 5 月
3）若干名
4）渡航費、生活費（留学先によって金額が異なる）、家賃、着後雑費、別送荷物、同伴家族に対する補助手当て。また、疾病・障害をカバーするフルブライトグループ保険（本人のみ）
5）03-3580-3233

## 経済団体連合会奨学金

**● 日本人大学院生奨学生**
1）（公財）経団連国際教育交流財団、（一社）東京倶楽部
2）9 月 1 日～ 19 日必着
3）経団連国際教育交流財団奨学生 1 名
東京倶楽部奨学生 1 名
4）年間 350 万円（使途は留学先の学費、生活費等、留学に関わる支出に限る）
5）03-6741-0162

## IELTS 奨学金

**● IELTS Study UK 奨学金／ IELTS 北米奨学金**
1）ブリティッシュ・カウンシル、（公財）日本英語検定協会
2）～ 6 月
3）各 5 名
4）3000 ポンド／ 6000 ドル
5）scholarshipielts@britishcouncil.or.jp
（IELTS 奨学金事務局）

2014 年 6 月 10 日現在の情報です。
応募の際は、必ずお問い合せください。

# IELTS *Hot News*

**４月に英国ビザの申請要件に変更があり、
今後、IELTSの受験者が増加することが予想される。
一方、英検サイトではIELTSスピーキングテストの
サンプル動画を公開し、個々の学習をサポートする。**

## 英国留学のビザ申請で一部英語試験が無効化

### 英国留学に求められる英語能力の証明

英国の内務省は４月に、ビザ申請時に提出する英語力の証明として、ETSが運営する英語能力テスト（TOEICとTOEFL）を承認しないと発表した。これは、今年２月にロンドンでTOEIC試験の不正が起きたことを受けて決定したものだ。

そもそも英国の大学や専門学校に留学する場合は学生ビザが必要となり、そのためには英語能力を証明しなくてはならない。コミュニケーション能力のレベルを示す国際標準規格「CEFR」で言えば、語学学校に留学する場合はＢ１レベル、大学や大学院ではＢ２レベルが求められる。

こうした英語能力を証明するための試験として承認されているものに、IELTSをはじめ前述のTOEICとTOEFLなどがある。しかし、このたびの英国内務省の決定を受けて、IELTSの受験者数がこれまで以上に増加することになりそうだ。

### 受験者増が見込まれるIELTSは会場を追加

そこで、国内でIELTSを運営する日本英語検定協会では、６・７月にIELTSの試験会場を追加して対応することに決めた。

東京会場は、６月28日（土）、７月26日(土)の２日間。両日とも、リスニング、リーディング、ライティング、スピーキングテストが１日で実施される。

大阪会場は、7月19日(土)。スピーキングテストのみ、翌日20日(日)に実施される予定だ。

**CEFRスコアの目安**

| IELTSバンドスコア | CEFR | 熟達度 | IELTSバンドスコア | CEFR | 熟達度 |
|---|---|---|---|---|---|
| 8.5～9.0 | C２ | ほぼすべてのものを容易に理解できる。会話は自然で、流暢かつ正確に自己表現ができる。 | 5.0<br>4.0～4.5 | B１ | 身近な話題について標準的な話し方であれば理解できる。筋の通った簡単な文章がつくれる。 |
| 8.0<br>7.0～7.5 | C１ | 高度な長い文章を理解して含意を把握できる。複雑な話題について明確な文章をつくれる。 | 3.0 | A２ | 家族、買い物、仕事などの表現が理解できる。日常の事柄について単純な情報交換ができる。 |
| 6.5<br>5.5～6.0 | B２ | 母語話者とも緊張しないで自然にやり取りができる。幅広い話題について明確な文章をつくれる。 | 2.0 | A１ | 簡単な自己紹介ができる。ゆっくりとした会話なら簡単なやりとりをすることができる。 |

熟達度は内容を抜粋して紹介しています。

## IELTSスピーキング試験サンプル動画を公開

### ３段階のレベル別でテストの流れを確認

IELTSは、リスニング、リーディング、ライティング、スピーキングの４つのテストで構成されているが、とくにスピーキングに苦手意識を持つ受験者は多いかもしれない。

日本英語検定協会では、そんな受験希望者の要望に応え、IELTSのスピーキングテストの様子を紹介する動画を公開した。

動画は３つのレベルに分かれ、CEFRのＢ１レベル、Ｂ２レベル、Ｃ１レベルのスピーキングテストの様子を見ることができる。

Ｂ１は海外の大学に条件付入学の出願が可能な程度、Ｂ２は海外の大学の学部に出願可能な程度、Ｃ１は海外の大学院に出願が可能な程度のレベルとして設定されている。(IELTSバンドスコアとCEFRスコアの対応は右上の表を参照)。

### BULATSや英検も動画でテスト対策

IELTSのスピーキングテストは、Part１「イントロダクション」、Part２「スピーチ」、Part３「ディスカッション」の３つのパートに分かれる。

レベルごとに、どの程度のスピーキング能力が必要なのかがわかる。

Part１では試験官から本人確認を受け、出身地や現在の職業などについて聞かれる。Part２では与えられたトピックについて自分の意見や体験を述べる。Part３は、Part２のトピックに関連した質問に答える、という内容だ。それぞれのパートで求められる内容が異なってくるので、サンプルビデオを活用してトレーニングを積み重ねたい。

なお、IELTS以外にもBULATS（ビジネスシーンに特化した英語能力テスト）や英検のスピーキングテストのサンプル動画も公開している。受験前に自分のレベルがどの程度あるのかを判別するのにも役立ちそうだ。

Aptis
Forward thinking English testing
Aptis for Japanese University は日本の大学のために設計された世界基準の英語力評価テストです。
英国の公的な国際文化交流機関のブリティッシュ・カウンシルと、「英検」を創設して50年の歴史を持つ公益財団法人日本英語検定協会が、日本の大学向けに英語テスト「Aptis for Japanese University」をスタートしました。このテストは「文法と語い力（コアモジュール）＋リスニング＋リーディング」という組み合わせで構成され、手軽に、正しく、そしてスピーディに受験者の英語力が測れます。
88 min
試験時間は授業の時間割にも組み込みやすい88分。
受験者が多い場合でも導入しやすい価格。
3,000円（税別）/人
約1週間
テスト結果は約1週間後に、申込者宛てにお届け。CEFR（ヨーロッパ言語参照枠）との照らし合わせもできるので世界基準の英語能力を把握することが可能。
Aptis for Japanese University（大学向けアプティス）に関するお問い合わせはこちらまで
BRITISH COUNCIL
ブリティッシュ・カウンシル
TEL：03-3235-8031
E-mail：exams@britishcouncil.or.jp
英検 公益財団法人 日本英語検定協会
公益財団法人 日本英語検定協会
TEL：03-3266-6121
ウェブサイト
www.britishcouncil.or.jp/aptis

ブリティッシュ・カウンシルの講師に聞く

# IELTSテストのコツ

by Tony Clark & Peter Brereton

**IELTSで最も難関だと言われるリーディング・セクション。本文の効率的な読み方から解答へのアプローチの仕方まで今すぐ役立てたい解答テクニックを紹介しよう。**

## テスト本文の効率的な読み方

IELTSのアカデミック・モジュールのリーディング・セクションは、新聞や雑誌の記事から3つの文章が出題され、60分間で合計40の質問に答えます。おそらく、リーディングはIELTSのなかで最も難しいセクションだと言えるでしょう。急に高いバンド・スコアを取ることができるような魔法が存在するわけではありませんが、日ごろの学習の成果を最大限に生かせるような、効率のよい解答法があります。ここでは、それを紹介していきましょう。

みなさんは普段英語の文章をどのように読んでいるでしょうか。最初から一語一語追って、すべての文を理解しようとしてはいませんか？

IELTSのリーディングでは、「質問に答える」ことを目標に読み解きます。したがって、質問に関係のないところは、読み飛ばしてかまいません。大事なことがどこに書かれているかを見つけ、そこを集中的に読み込むのです。これはすでに、みなさんも日本語でやっていることです。

自分がいつも日本語の新聞や雑誌をどのように読んでいるかを思い出してください。知らない言葉が出てきたとき、気にせずに読み飛ばしているのではないでしょうか。IELTSのリーディングでもそれと同じことをすればいいのです。

## 本文と質問、どちらを先に読む？

よく、「本文を先に読むのがいいか、質問を先に読むのがいいか」と聞かれますが、どちらがいいか決まっているわけではありません。どんなことが書かれているかを知るために、質問を読む前に本文にざっと目を通す（Skimming［スキミング］をする）人もいれば、まず質問を読んで、その答えを見つけるために本文を読む人もいます。

文章を読む力が高い人は、Skimmingをせずに本文を読み、すぐに答えを見つけることができるかもしれませんが、読解力にまだ自信がない場合は、まずSkimmingをしてみましょう。どちらが自分に合っているか、問題集などを使って両方の方法を試してみるといいでしょう。

それでは、ざっと本文に目を通し要点をつかむSkimmingの方法を紹介しましょう。

最初に、見出しや図表などを見て、本文のテーマが何であるか予測します。次に、最初の段落に目を通してみましょう。ここには、本文全体の概要が書かれていることが多いので、まずそれを把握します。そして、Skimmingのテクニックを使い、第2段落以降を読みます。

Skimmingとは、文章の一言一句を読むことなく、大事なところだけに注目して、文章全体を把握するためのテクニックです。まず、段落の中のtopic sentence（トピック・センテンス）に着目します。その段落に何が書かれているかを簡潔に告げる文で、多くは段落の冒頭に置かれています。それ以外はざっと読み、その段落に何が書かれているかを把握しましょう。スピーディーに読み進めることが大切ですので、すべての語句を読み理解したい、という誘惑には打ち勝たなければなりません。

Skimmingによって各段落に何が書かれているかをおおまかに把握したら、次に、質問に目を通し、本文の中から何を見つけなければならないかを理解します。例えば、次のような質問があったとします。

'In what year did the Titanic sink?'
（タイタニック号が沈んだのは何年でしょうか？）

この質問に解答するためには、本文の中から、年について書かれている部分を探します。これを、Scanning（スキャニング）と言います。Scanningとは、あらかじめ探すべき内容を決め、文章に目を通しながら、目的とする語句を見つけ出す作業です。多くの場合、本文では「タイタニック号は○年に沈んだ」とそのまま書かれているわけではありません。例えば、次のような説明になっていたりします。

"….the mighty vessel perished on the night of 14th April 1912."
（……巨大な船が、1912年4月14日の夜に消滅した）

ここでは、mighty vessel（巨大な船）がTitanicを指していることに気づかなければなりません。単にTitanicという語や年を記している語を探すword-spotting（ワード・スポッティング）を行うと、大事な情報を見つけることができなかったり、読み違えてしまったりする恐れがあるので、必ず前後の言葉にも注意するようにしましょう。

最後にそれが書かれている部分をじっくり読むReading for detailというテクニックを活用します。読んで字のごとく、質問内容に該当すると思われる部分を注意深く読み解答する方法です。

## 質問パターン別の解答アプローチ

リーディング・セクションの質問にはいくつかのパターンがあり、それぞれのパターンにあったアプローチの仕方があります。いくつかの例をご紹介しましょう。

1）概要や図表の空欄を埋める
➡本文をScanning

2）各段落の見出しとしてふさわしいものを選択肢から選ぶ
➡本文のSkimmingで要旨を把握し、さらに細部を読み込む

3）与えられた文について、本文の内容と合っているかどうか、true（合っている）/false（間違っている）/not given（本文に書かれてない）のいずれかから選ぶ
➡Scanningによって本文の中の該当箇所を探し、前後の語句を注意深く読む

4）質問に対して短く答えを書く
➡Scanningで本文の中の関連した個所を探す

5）選択肢の中から正しいものを選ぶ
➡Scanningによって本文の中の該当箇所を探し、前後の語句を注意深く読む

最後に、解答を確実なものにするための、いくつかの心構えを記しておきます。

- 1つの問題に時間をかけすぎてはいけません。わからなかったら次へ進み、最後に時間があったら見直しましょう。
- リーディング・セクションには、答えを英語で書くところがあります。スペルミス、単数・複数の区別などにも注意しましょう。
- リスニングではメモを取り、最後に解答用紙に答えを書くための時間が与えられますが、リーディングにはそれがありません。時間内に解答用紙を埋めることができるよう、時間配分に気をつけましょう。
- 問題集以外にもあらゆる英文を読み、語彙を増やし、早く読む練習をしましょう。

IELTS™

IELTS. The international license.

IELTSという名の国際免許証

IELTS（International English Language Testing System、アイエルツ）は、英語圏への留学や、移住を志す人の英語能力を評価するために作られたテストです。信頼性、公平性の高さからイギリス、オーストラリア、アメリカ、カナダを始め世界135カ国で約8,000の機関が、IELTSを受け入れ基準として認めています。2012年の全世界合計の受験者数は200万人に達し、英語能力試験のグローバルリーダーの役割を果たしています。

日本では、東京、横浜、名古屋、京都、大阪、神戸、広島、岡山、福岡、札幌、仙台、金沢、埼玉、松本、高知で受験することができます。

お問合せ・受験申し込みは、
公益財団法人 日本英語検定協会 IELTS事務局まで
www.eiken.or.jp/ielts

IELTSとは…

16歳以上を対象にしたテストで、英語で授業を行う大学や大学院に入学できるレベルに達しているかどうかを評価するアカデミック・モジュールと、英語圏で学業以外の研修を考えている方向けのジェネラル・トレーニング・モジュールの2種類があります。いずれも、リスニング、リーディング、ライティング、スピーキングの4つのテストで構成されています。

Listening + Reading + Writing + Speaking

ブリティッシュ・カウンシルでは、IELTS試験対策コースを開講中!!
www.britishcouncil.or.jp

勉強法や留学した人の体験談がわかる
http://www.facebook.com/IELTS.BritishCouncilJapan

英検 公益財団法人 日本英語検定協会

BRITISH COUNCIL

公益財団法人 日本英語検定協会は、ブリティッシュ・カウンシルと日本でのIELTSを共同運営しています

# IELTS 対策コースナビ | Vol. 4 beoカレッジ ～ライティング編～

# 高スコアに求められるのは構成力と論旨の一貫性

**留学準備をサポートする多くの機関やスクールが、IELTS 対策に的を絞ったコースを開講している。独学では得られない多くの気づきを与えてくれるIELTS 対策コース。今回は beo カレッジのライティング対策を見てみよう。**

## 総合的な授業にも満載 ライティングのコツ

IELTS のライティング試験には、図や表、グラフを見て 150 語以上で説明する Task 1 と、与えられたトピックについて自分の考えを 250 語以上で説明する Task 2 という、２つの設問がある。Task 1 では、図表が意図しているところを正確に読み取り、それを簡潔にまとめる力が必要だ。一方、Task 2 では、ものごとを論理的に思考し、それを秩序正しく構成する力が求められる。

大学・大学院留学のための学習を専門にサポートするスクール beo カレッジでは、日本の高校や大学で習得するのが難しい、アカデミックな文章のまとめ方を指導。与えられた課題に沿って書いた文章を、講師が一つひとつ丁寧に添削してくれる。

海外の大学院留学を目指す「大学院留学準備コース」では、普段の授業ではリーディング、リスニング、スピーキングの力を総合的に鍛え、ライティングの課題は宿題となっているが、実は日頃の授業の中にも、ライティングの力を伸ばすためのヒントが含まれている。「例えば、テキストを読む際に、新しい語彙に着目したり、文章の流れやまとめ方を確認しているうちに、自分のライティングに役立つ要素が見出せるはずです。また、リスニングやスピーキングの練習をしているうちに、書き言葉と話し言葉のスタイルの違いも理解できるようになってくるでしょう」と、beo カレッジの講師は話す。

## 定期的に書くことで 文章をブラッシュアップ

ライティングの課題は、講師がインターネットの専用サイトにライティング用の課題をアップロードし、受講生が自分の文章をアップ、またはメールで送ると、折り返し添削がインターネットを通して返ってくるというシステムを採っている。ライティング力は短期の勉強で大きく力が変わってくるものではないので、この「期限を決めて定期的に書く」というトレーニングは非常に大切だ。講師のアドバイスをもとに、書くたびに自分の文章の欠点を改善していくことで、次第に論旨の整った、なめらかな文章を書くことができるようになる。

日本人が英語を書く際は、時制はこれでよいか、接続詞は何を使うかなど、どうしても文法的なことにこだわってしまいがちだが、IETLS では、正しい文法に基づいて書くのが大切なのはもちろんのこと、それと同じくらい、文章の構成力や論旨の一貫性が求められる。例えば「導入」「本文」「結論」といった英語の文章ならではの構造を持たせることは非常に大切で、これも講師の指摘をもとに自分の文章の構成を意識することで、次第にできるようになっていく。

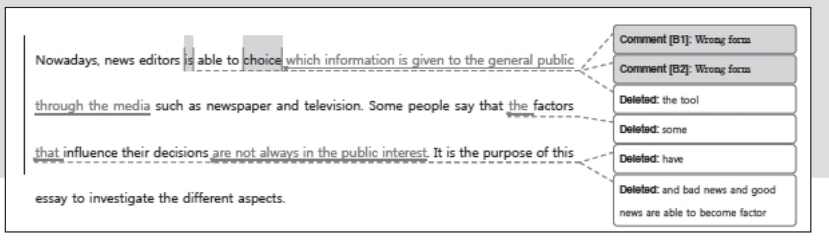
IETLS で高いスコアを得るためのポイントも、授業や添削を通して教えてくれる。「Task 1 では細部にこだわりすぎず、最も顕著な特徴をすばやく正確に見つける」「Task 2 では、利点と欠点、その根拠も示し、さらに自分の意見を加えること」などだ。さらに一定の時間内に文章をまとめる訓練をし、最後に見直す時間も持てるようにするとよいと、アドバイスをいただいた。

### 課題レポート

### きめ細かい添削指導

今回は、IELTS 対策もしくは大学院留学の準備のためのライティングの課題とその添削例を見せてもらった。設問には「報道のテーマの選び方についてどう思うか」といったことが、英語で書かれている。受講生は、エンターテインメントや政治など人々の話題を集めやすいテーマがよく報道されること、また、いい話よりも悪い話のほうに偏りがちであることなどを挙げている。

講師は添削の中で「some factors ➡ the factors」「an image ➡ such images」など細かい言葉の使い方を直すほか、「in other words,（別の言い方をすれば、）を使って説明を加えてみよう」「適切なつなぎ言葉を使い、原因と結果の関係をよりはっきりさせること」など、よりよい文章にするためのヒントを与える。さらに、「You raise some interesting points ...（いくつかの興味深い点を挙げています……）」など、よいところにも触れて講評している。丁寧に読んでくれる人がいると、ライティングの課題も楽しみながらこなせるようになってくるだろう。




beo カレッジ　http://beocollege.jp/

### IELTS 対策に対応するコース

**IELTS 対策コース**
初中上級の３レベルに分かれて、４技能をバランスよく学ぶ。ペアやグループによるアクティビティや、実践さながらの問題演習に取り組む。

**IELTS ライティング添削 通信講座**
１つの課題に２度取り組み、それぞれ添削を受けるので、独学では学びにくいライティングの実践的なテクニックを身につけることができる。

**大学院留学準備コース**
国内で受講できる大学院留学のための準備コース。２学期制で、１学期は IELTS 対策に重点を置きながらアカデミック英語の授業も行われる。

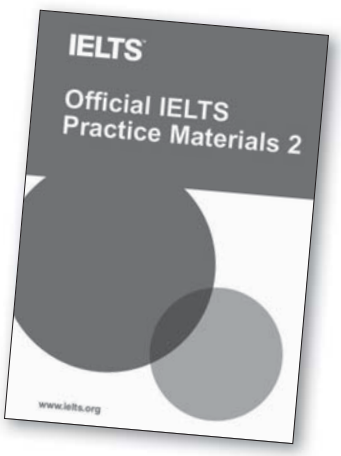
**プライベートレッスン**
受講生一人ひとりの目的や弱点に合わせて、オーダーメイドでレッスンプランを作成。マンツーマンで、確実に英語力を強化できるコース。

# Book IELTS 攻略本

## [ Official IELTS Practice Materials 2 ]

### 本番さながらにトライ

アカデミックモジュール、ジェネラルトレーニングモジュールの各セクションの模擬テストを１部ずつ収録しています。ライティングでは受験者の解答サンプルと試験官からのコメントを収録。苦手意識を持つ受験生が多いライティングですが、効率よく点数を伸ばしたい方に必読の教材です。スピーキング、ライティングの評価基準にも触れているので、今後の学習の参考になるでしょう。



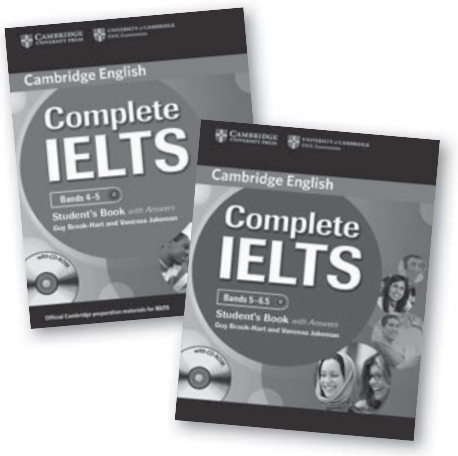

Official IELTS Practice Materials 2
Paperback with DVD　本体価格 1,600 円

**上手な活用法**
自分が受験するモジュールを選んで挑戦してください。実際のテストと同じような状況で問題を解き、規定の制限時間で終えるよう、模擬テストで本番の下準備をしておきましょう。

## [ Complete IELTS Bands 4-5/5-6.5/6.5-7.5 ]

### バンド別に効率よく学ぶ

アカデミックモジュール用のコースブック。解答つきの Student's Book と Audio CD がセットになった Student's Pack で、自学自習用としてお使いいただけます。トピックベースの 10 ユニット構成で、各ユニットで４つのセクションをカバー、スコアアップに必要な戦略やスキルを学びます。巻末には１回分の模擬テストを収録。目指すバンドに合ったレベルでより効果的な学習が可能です。




Complete IELTS Bands 4–5/5-6.5
Student's Pack　本体価格 各 6,000 円

Complete IELTS Bands 6.5–7.5
Student's Pack　本体価格　6,500 円

**上手な活用法**
まずは Unit 1 から順に学習しましょう。すべてのユニットを終えたら、そこから学んだヒントやアドバイスを思い出しながら、模擬テストで力試し。本番に向けて万全の準備を整えましょう。

書籍に関するお問合せ：ケンブリッジ大学出版局　http://www.cambridgejapan.org/

Vol. 11 デューク大学サンフォード公共政策大学院　平田康一さん

# 留学で培う3つの力

異文化に触れ、多様な価値観に出会える海外留学。
「IELTS 北米奨学金」「IELTS Study UK 奨学金」の受賞者は、
留学でどんな力を培ったのだろうか。
デューク大学の公共政策大学院で学んだ平田康一さんに
1年間の留学で身につけた3つの力について伺った。

## 刺激あふれる1年間の留学生活

2012年7月から約1年間、米国のデューク大学サンフォード公共政策大学院で国際開発政策を専攻しました。1年間の留学期間は決して長くはありませんでしたが、それでも、日本ではできない経験を通して数多くの学びを得ることができました。今回は、留学によって身につけた3つの力をご紹介いたします。

### ちから1 コミュニケーション力

#### キャンパス内外で構築した人間関係

大学のあるノースカロライナ州ダーラム市は小さな地方都市で、とても長閑な雰囲気でした。キャンパスは、「森の中に大学がある」と言う表現がしっくりくるとおり、自然豊かな環境の中に立地していました。このような環境は、とくに勉強に集中するのに最適だったと思います。周辺に娯楽施設はあまりありませんでしたが、それがかえって大学内外で開催されるイベントやパーティーに極力参加しようと思った要因にもなりました。実際に、学校の友人たちの参加率も高かったのではないでしょうか。

プログラムが開始された当初、郊外にある教授の家で、ポットラックパーティー（参加者が料理を一品ずつ持ち寄るパーティー）が開かれました。私は肉じゃがをつくって持って行きましたが、料理の感想やつくり方などを会話のきっかけにして、多くの方と親交を深めることができました。

また、デューク大学はバスケットボールが強く、毎回気合の入った応援が行われていますが、私も友人たちとチームカラーのブルーを身につけて、何度か応援に行ったことがあります。日本では、このようなイベントにあまり積極的に参加する方ではありませんでしたが、留学期間中に多くのイベントに足を運ぶことで、友人たちと親交を深めることができました。

また、家族帯同の友人も多く、彼らと家族ぐるみのつき合いをすることができたこともよい経験になりました。

留学期間の1年間で、英語力の向上はそれほど実感することができませんでしたが、授業内外におけるさまざまな体験を通じて、国籍やバックグラウンドの違う人とも自然にコミュニケーションをとることができるようになったと感じています。1年という短い留学期間だったとは思えないほど、多くの方ととても良い人間関係を築くことができました。これは、留学で得た大きな成果のひとつだと思っています。

緑豊かなキャンパスにたたずむデューク・チャペル。

### ちから2 タイムマネジメント力

#### 課題に追われて体得した時間管理術

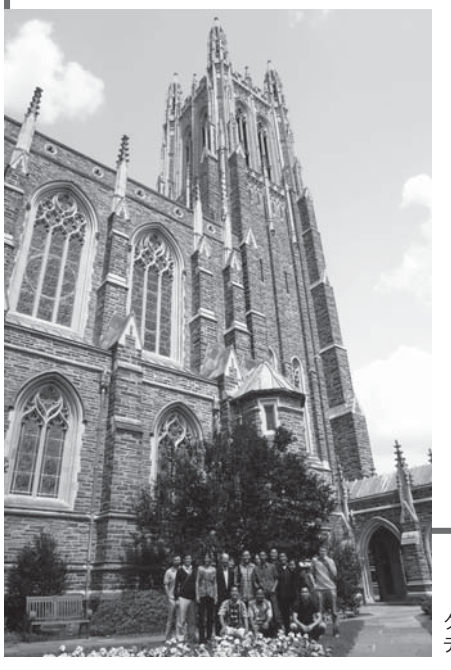
大学院の授業は、事前に指定のリーディングマテリアルを読んできていることが前提で進められます。また、どの授業でも、プレゼンテーション、レポート、グループワークなどのタスクが課せられるのも特徴のひとつでした。

グループワークでは、グループとして一つのレポートやプレゼンを完成させるまで何度も皆で集まります。さらに各自で作業する必要もあるため、想像以上に時間がかかります。同じ週に複数の授業の課題レポートを提出しなければならないときは、必然的にそれぞれの課題や授業準備にかけられる時間も限られ、リーディングマテリアルすべてに目を通す時間はなかなか持てませんでした。

このように、留学当初は上手にバランスをとりながら勉強を進めることが難しく感じられました。しかし、限られた時間をいかに効率的に使うかを常に意識し、先を見据えてスケジュール管理をすることに努めていった結果、徐々に授業のペースに慣れていったこともあり、後期に入った頃には前期ほどの負担を感じることはなくなりました。

ある授業では専門のソフトウェアを使用する必要がありましたが、私は使った経験がなかったため、毎週友人と勉強会を開催するなど、効率よく勉強を進めるための工夫も重ねました。

また、リーディングについては、スキミングのスキルが徐々に向上し、短時間で多くの文献を読むことに慣れていきました。それでも授業期間中はやはり大変なのですが、課題提出後は時間の余裕を感じるようになり、授業内外のイベントやパーティーにも前期より数多く参加できるようになりました。このような経験を通じ、時間管理について意識する習慣がついたように思います。



クラスメイトと
デューク・チャペル前にて。

1年間、ともに学び、切磋琢磨しあった仲間たちと。

### ちから3 ディスカッション力

#### 授業で鍛えられた討論の実践スキル

私が通っていた大学院にはバックグラウンドが異なる留学生が多く学んでいました。そのせいか、授業での議論の進め方や主張のポイントがバラエティ豊かだったことに加え、英語の発音もそれぞれ特徴的でした。また、学生たちは皆、自信を持って発言し、教授はそれぞれの意見を尊重しつつ上手く議論を活性化させ、授業を進行していく様子が印象に残っています。

このような環境もあって、留学当初からあまり躊躇することなく発言することができたと思います。ただ、特に初めて学ぶ内容の授業では、慣れない英語での議論ということもあり、話についていくだけで精一杯のときもありました。そのため、予習時に、このテーマに議論が及んだらこんな発言をしよう、とあらかじめ決めておき、タイミングがきたらすかさず発言するように心がけていました。

グループディスカッションの際は、グループにまとめ役がいない場合は議論が拡散し、時間までに結論がうまくまとまらないケースが何度かありました。

例えば、開発政策の初回の授業で、貧困とは何かについてグループディスカッションを行ったときのことです。途上国から来た留学生は、自分たちの出身国における貧困層の現状について問題意識が高く、たくさんの発言があったものの、なかなか結論をまとめられない状況でした。この日は私が代表してグループの結論を説明することが決まっていたため、グループディスカッションの終了時間が迫るなか、率先して皆から出た意見をまとめ、議論を適切に誘導するかじ取り役となる必要がありました。

このような経験を通じて、まだまだ改善の余地はあると思いますが、留学を終える頃には英語でディスカッションをすることに、ある程度慣れることができたと感じています。

# 今までの大学入試を変える
# 4技能型アカデミック英語能力判定試験

TEAP Test of English for Academic Purposes

TEAP（ティープ）は**上智大学**と**英検協会**が共同で、**入試用の試験**として開発をしました。受験者は主に日本の高校3年生を対象とし、試験の難易度もそれに合わせて英検準2級～準1級レベルとなっています。

**導入大学 ▶ 上智大学 ・立教大学 ・関西大学**

## TEAPを入れる4つの理由。

### 大学で学ぶための【英語のレディネス】を正確に把握

TEAPは言語研究では世界的に著名なイギリスのベッドフォードシャー大学のCRELLAと開発を進め、英検の50年の問題作成ノウハウを活かして作り上げたテストです。「高校までに学習した英語力」をもとに、「大学で英語を使って学習・研究・発表する力」を測定します。ほかのテストよりも目的が絞られている分、より正確な測定ができます。

### グローバル人材の育成のための「教育」に注力できる

4技能型入試の導入と、育成のためのカリキュラムが大学に求められています。そこで、まずは4技能型入試の部分ではTEAPを活用し、大学としてはカリキュラム開発へと注力することで、グローバル人材育成のための体制づくりを少ない労力で進めることができます。導入後は、TEAPスコアを活用して、開発したカリキュラムの効果測定も可能です。

### スコアとバンドで、きめ細かく基準ラインを設定できる

TEAPは細かいスケールの「スコア」と、大きな幅の「バンド」、両方で成績をご提供いたします。学部や学科のニーズ、求める人材像に応じて、必要な英語力をきめ細かく設定することが可能です。また、高校生にも多くのフィードバックを提供し、大学入試のお手伝いだけではなく、高校生の育成においても配慮しています。

### 「すぐに」、「無料で」、成績データが使えます

TEAPを入試に採用いただいた上で、ご登録いただければスコアデータは無料で提供いたします（登録条件有り）。


お問い合わせ先

**公益財団法人 日本英語検定協会　TEAPマーケティング担当**

塩崎（関東・東海）、平（関西・中国）、西畑（甲信越・四国・九州・沖縄）、安藤（北海道・東北）

**TEL**：03-3266-6121　**E-mail**：support-kokusai@eiken.or.jp


詳細・サンプル問題はこちらから
www.eiken.or.jp/teap/

# 英語圏大使館合同留学フェア 2014

**参加無料!!**

明治大学アカデミーコモンに、アメリカ・イギリス・カナダ・オーストラリア・ニュージーランドの大使館・公的機関の教育・留学の担当者がやってきます！

**Date 7/19 土**　**Time 11:00～17:30**

東進ハイスクール英語講師
**安河内 哲也氏**

Teach For Japan代表理事兼CEO
京都大学大学院特任准教授
**松田 悠介氏**

e-Education共同代表
**三輪 開人氏**

文部科学省トビタテ！留学ジャパン
リクルーティングチームリーダー
**荒畝 悟氏**

## 留学フェアでできること

1. 各国の担当者に直接、個別に留学相談ができる！
2. 各国の留学セミナーに参加できる！
3. 東進ハイスクールの英語講師・安河内氏や日本を代表するグローバル人材など著名人の講演を聴ける！
4. 留学に必要な英語試験や奨学金などの情報を入手できる！

**主催：明治大学国際連携本部**

共催：公益財団法人 日本英語検定協会、明治大学国際教育研究所、EducationUSA/アメリカンセンターJapan、日米教育委員会（フルブライト・ジャパン）、米国大使館商務部、ブリティッシュ・カウンシル、カナダ大使館広報部、オーストラリア政府、EducationNZ　その他参加団体もあり


お問い合わせ先

**公益財団法人 日本英語検定協会 教育事業部 国際課 海外留学フェア係**

**TEL**：03-3266-8486　www.kbunsha.com/embassy


英検 公益財団法人 日本英語検定協会